

工 事 番 号							
設計年度	令和 5 年度	雨水排水ポンプ場耐水化工事（下北方雨水ポンプ場） 仕様書 公共下水道事業 下北方一丁目					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
・下北方雨水ポンプ場耐水化改修工事 建築工事 一式 電気設備工事 一式							

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市下北方一丁目 公共下水道事業 雨水排水ポンプ場耐水化工事（下北方雨水ポンプ場）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和5年8月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第4節 検査

土木工事共通仕様書（令和5年8月広島版）『第3編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第5節 週休2日工事等

本工事は、週休2日工事の対象外とする。

第6節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第7節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
 - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第2章 施工条件

第1節 工 程

1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。(支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。)
移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

第2節 用 地

- 1 借 地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第3節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容	柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況
範囲	別途協議による。

第4節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路	特に指定しない。
使用期間	工事施工期間
使用時間	8時30分～17時
工事中・後の処置	随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第5節 仮設工

湧水等により，見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は，任意仮設についても設計変更することができる。

ただし，変更しようとする者は，見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに，適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し，監督員と協議すること。

第6節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所	指定しない
期間	指定しない
保管方法	指定しない

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和5年8月広島版）『第1編 1-1-32 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 第1節 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第2節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|-------------|---|
| （1）原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| （2）補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| （3）応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| （4）補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

第6章 その他

本工事内及び近接する地域住民，企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで，苦情やトラブルのないよう施工に努めること。
また，特記仕様書及び設計図書に明示していない事項，または，その内容に疑義が生じた場合は，監督員の指示を受けること。

三 原 市

下北方雨水ポンプ場

特 記 仕 様 書

(建築)

広島県三原市

10 アルミニウム塩化セレン
多量塩類・適用する・適用しない
防露材のアルミアルド放数量
※ 各種標準仕様書表4.3.2により、浴室湿りぬめきを行ったもの
既存のその他の塗膜及び接着剤に対する養生方法 ※ 表示
鋼管製との露骨等 ※ 改修標準仕様書表4.3.4による
たてどい塗膜の取付 ※ 表示

防水改修フロー及び数量
・ 既存保護層の種類及び処置

防水工事調査 (施工数量調査書)					
ひび割れ割修繕	欠損部改修	浮き剥離修繕	びり割れ修繕	既存目地欠損部修繕	既存目地欠損部修繕 (既取に利用する)
0m	0m	0m	0m	0m	0m

シーリング改修					
シーリング再取付工法					
mm×mm	mm	mm×mm	mm	mm	mm

1 ポリマーセメントモルタル		(品質・性能)		項目		品質・性能		[4.2.2]	
下りり量	50g	引張強度	6.0N/mm ²	引張弾性率	20.0%	引張伸び	1.0%	引張強度	20.0%
引張弾性率	20.0%	引張伸び	1.0%	引張強度	20.0%	引張伸び	1.0%	引張強度	20.0%

2 ポリマーセメントスラリー		(品質・性能)		項目		品質・性能		[4.2.2]	
引張強度	6.0N/mm ²	引張弾性率	20.0%	引張伸び	1.0%	引張強度	20.0%	引張伸び	1.0%

3 吸水性試験
改修標準仕様書表4.3.2による [4.3.5]

4 既設モルタル		(品質・性能)		項目		品質・性能		[4.3.5]	
引張強度	6.0N/mm ²	引張弾性率	20.0%	引張伸び	1.0%	引張強度	20.0%	引張伸び	1.0%

17 既設の剥離
製造業者の定める、圧縮強度と弾性率より質量より換算して、所定量の試料を振り上げる
の工程を材料と一緒に行い、既設の剥離を除去する
練り混ぜは、JIS R5201 (セメントの物性試験方法) の10.2に規定する練り混ぜ器を使用し、
練り混ぜに準じて水を入れ、攪拌しながら30分間材料を攪拌し、3分間練り混ぜて試料
とする

(2) 吸水性の試験方法
JIS R2022「フロードグラス及び繊維ガラス」に規定する繊維ガラス (縦150mm、
横150mm、厚5mm) の上にJIS P3801「2線 (化学分析用)」に規定する5.6mm (厚
11cm) のせり、その中央部に真ちゅう製リングを置く (内径50mm、高さ10mm、厚さ
3mm) を設置し、(1) で調整した試料を中央部に盛る
その後、真ちゅう製リングと試料との間に紙を挟み、その紙を、その紙が裏面に
なるようにして押さえる。60分後に紙をへきし出した後、その紙の裏面に盛られた
方向とこれと直角な方向の長さ各をメスを用いて、1mmの単位まで測定する。
試験は3回実施し、その平均値を用いて次に示す吸水率を算出する。
吸水率(%) = 平均値×100 (注) 50 : リング枠の外径 mm

(3) 単位容積質量の試験方法
JIS A1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる

(外) のり寸法約200mm×300mm) を設置する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度
90%以上の状態で養生養生を行い、これを試験体とする。
(試験体) JIS A699「建築用土塗材」の1) の付着強さを試験に準じて行う。試験体を
ダイヤモンドペンを用いて、ダイヤモンドペンを用いて軽く研砕した後、水湿しを行い、
し、細粒を除去し、表面をサンドペーパーを用いて軽く研砕した後、水湿しを行い、
行う。なお、養生養生の期間は、試験体の中からあらかじめ採取した試料を調査する。
(全長) 60mm/2mm以上を確保していること。
また、試験体の剥離強度の表示を下記の中から任意で選択する。
T: 剥離強度
M: 剥離強度
G: 剥離強度
D: 剥離強度

ひび割れ割修繕
欠損部改修
浮き剥離修繕
びり割れ修繕
既存目地欠損部修繕
既存目地欠損部修繕 (既取に利用する)

1 欠損部改修工法
※ 充填注入工法 [4.1.4] [4.2.4, 5, 6, 7]

2 欠損部改修工法
※ 充填注入工法 [4.1.4] [4.2.4, 5, 6, 7]

3 浮き剥離修繕工法
※ 剥離除去工法 [4.1.4] [4.3.5, 6, 7, 8]

4 欠損部改修工法
※ 剥離除去工法 [4.1.4] [4.3.9, 10]

5 浮き剥離修繕工法
※ 剥離除去工法 [4.1.4] [4.3.11~16]

6 目地改修工法
※ 目地ひび割れ補修工法 [4.1.4] [4.5.6, 16]

4-5 外壁改修工事
アンカーピン材 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
注入口付アンカーピン材 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm
モルタルを塗り直しで改修
モルタルの材料 ※ 調整適合材料 ※ 調整適合材料
充填材 ※ エポキシ樹脂モルタル ※ ポリマーセメントモルタル
モルタルの材料 ※ 調整適合材料 ※ 調整適合材料
モルタルを塗り直しで改修
モルタルを塗り直しで改修
モルタルを塗り直しで改修
モルタルを塗り直しで改修

1 タイルの形状・寸法等
タイル部分修繕工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類
(1) 接着剤の種類 ※ 調整適合材料 ※ 調整適合材料 ※ 調整適合材料 ※ 調整適合材料
(2) タイルの形状・寸法等
(3) タイルの形状・寸法等
(4) タイルの形状・寸法等
(5) タイルの形状・寸法等
(6) タイルの形状・寸法等
(7) タイルの形状・寸法等

2 ひび割れ割修繕工法
※ 剥離除去工法 [4.1.4] [4.5.5, 6]

3 欠損部改修工法
※ 剥離除去工法 [4.1.4] [4.5.7, 8]

4 浮き剥離修繕工法
※ 剥離除去工法 [4.1.4] [4.5.9~15]

5 目地改修工法
※ 目地ひび割れ補修工法 [4.1.4] [4.5.6, 16]

6 外壁改修改修工法
平成7年度建設省告示第1860号による「外壁改修改修工法の開発」において、建設大臣の
技術評議を取得した工法とする

4-5 外壁改修工事		目地改修工法		[4.5.4]	
目地改修工法	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料

2 下地調整材		目地改修工法		[4.5.2]	
目地改修工法	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料

3 仕上塗材仕上げ		目地改修工法		[4.5.1]	
目地改修工法	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料

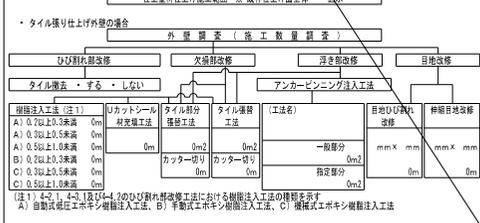
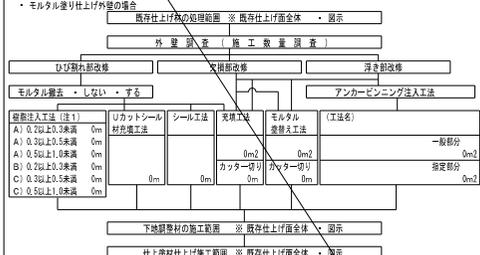
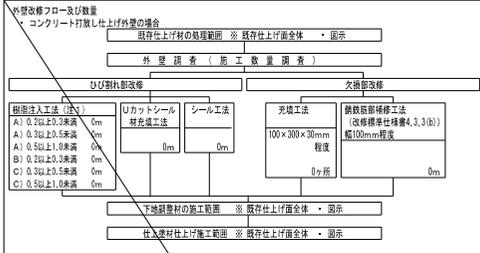
4 マスク塗料		目地改修工法		[4.6.1]	
目地改修工法	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料

5 外壁保護塗料		目地改修工法		[4.7.1]	
目地改修工法	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料

6 外壁改修工法		目地改修工法		[4.5.9~15]	
目地改修工法	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料

7 外壁改修工法		目地改修工法		[4.5.11~16]	
目地改修工法	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料

8 外壁改修工法		目地改修工法		[4.5.17]	
目地改修工法	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料	調整適合材料



用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

引張強度試験 (5.2.2) [5.3.3]
5.2.2.3 [5.3.3]
5.2.2.4 [5.3.3]
5.2.2.5 [5.3.3]

5.2.2.6 [5.3.3]
5.2.2.7 [5.3.3]
5.2.2.8 [5.3.3]
5.2.2.9 [5.3.3]

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

多層ビル出入口引車用電動装置
性能値
※ 改修標準仕様書第5.9.7による
引車用電動装置の構造は、多層ビル用として
引車用電動装置
性能値
※ 改修標準仕様書第5.9.7による
引車用電動装置の構造は、多層ビル用として
引車用電動装置
性能値
※ 改修標準仕様書第5.9.7による

14 自動ドア用引車用電動装置
性能値
※ 改修標準仕様書第5.9.7による
引車用電動装置の構造は、多層ビル用として
引車用電動装置
性能値
※ 改修標準仕様書第5.9.7による

15 重量シャッター
シャッターの種類
性能値
※ 改修標準仕様書第5.9.7による
シャッターの種類
性能値
※ 改修標準仕様書第5.9.7による

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

16 軽量シャッター
シャッターの種類
性能値
※ 改修標準仕様書第5.9.7による
シャッターの種類
性能値
※ 改修標準仕様書第5.9.7による

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

用途	材料	厚さ	試験方法	試験結果
基礎部分	コンクリート	150mm	圧入試験	OK
躯体部分	レンガ	115mm	圧入試験	OK
表層部分	モルタル	20mm	圧入試験	OK

令和5年度 公共下水道事業（雨水）

工事名	場所	図面番号	図面名
雨水排水ポンプ増設工	三原市 下北方一丁目	A-4	雨水排水ポンプ増設工

建築改修工事特仕様書 (4)

三原市

22	合成樹脂塗料	[6. 10. 2. 3]			
		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜塗料 ・弾性ウレタン樹脂系塗料				※ 平滑仕上げ ※ つや出し仕上げ ※ 防錆仕上げ	
・厚膜塗料 ・水性ウレタン樹脂系塗料				※ 平滑仕上げ ※ 防錆仕上げ	
・厚膜塗料 ・水性ウレタン樹脂系塗料				※ 平滑仕上げ	

23 防じん用塗料
材料 水性アクリル系樹脂塗料とし、製造所の指定する製品とする
工法 製造所の指定する工法とする
なお、上塗りには目隠りとし、総塗布量は0.25㎡/㎡以上とする
仕様の種類 (※ 平滑仕上げ、防錆仕上げ) (※ 塗膜厚) (※ 乾燥時間)
JIS K 5301に基づき塗料のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆

24	フローリング張り	[6. 11. 2~6]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・フローリング ・ボード等		・釘留め工法 (床下張り) ・釘留め工法 (直張り)	※ なら ※ なら	15 12	・ ・
・フローリング ・フロークワ等		・接着工法 ※ なら	※ なら	15	・

25	音断	[6. 12. 2]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・音断材 ・音断材 ・音断材		・釘留め工法 (床下張り) ・釘留め工法 (直張り)	※ なら ※ なら	15 12	・ ・
・音断材		・接着工法 ※ なら	※ なら	15	・

26 セッコボードとその
化粧ボード及び合板
張り
MD F、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 [6. 13. 2. 3]
合板のホルムアルデヒド放数量
※標準仕様値1.7, 2.7, 2.0 (1)の(a)~(d)のいずれか

27	壁紙張り	[6. 14. 2. 3]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・壁紙 ・壁紙		・接着工法	※ なら	1.5	・

28	タイル張り	[6. 15. 3. 5, 6]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・タイル ・タイル		・接着工法	※ なら	15	・

29 タイル張り
MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 [6. 13. 2. 3]
合板のホルムアルデヒド放数量
※標準仕様値1.7, 2.7, 2.0 (1)の(a)~(d)のいずれか

30	セムルペレフレンダ 塗り	[6. 17. 2. 3]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・セムルペレフレンダ 塗り		・接着工法	※ なら	1.5	・

31	塗装 改修工事	[7. 1. 3]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・塗料 ・塗料		・接着工法	※ なら	1.5	・

32	塗装 改修工事	[7. 2. 1~7]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・塗料 ・塗料		・接着工法	※ なら	1.5	・

33	塗装 改修工事	[7. 2. 1~7]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・塗料 ・塗料		・接着工法	※ なら	1.5	・

34	塗装 改修工事	[7. 2. 1~7]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・塗料 ・塗料		・接着工法	※ なら	1.5	・

35	塗装 改修工事	[7. 2. 1~7]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・塗料 ・塗料		・接着工法	※ なら	1.5	・

36 塗装
改修工事
MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 [6. 13. 2. 3]
合板のホルムアルデヒド放数量
※標準仕様値1.7, 2.7, 2.0 (1)の(a)~(d)のいずれか

(4) 接着剤 (標準) の試験方法
① 適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作成) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板
N=30を下板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研削した後、水洗しを行い直ちに
(1)で調製した接着剤を厚さ5mmになるよう塗布する。直ちにJIS A 5301「セッコボ
ード」に規定するタイルを押し当て1分間圧着し、その後、90度の角コンクリート
タイルの寸法約300mm×300mm)を圧着する。その後、28日間、温度20±2、湿度
80%以上の状態で養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法) JIS A698「建築用タイル」の10倍面積で試験に準じて行う。試験体を
ダイヤモンドソーを用いて、タイル面(下)で切断し、下板を除去するまで取り出し、
引張試験機で試験アタッチメントを接続し、引張試験機を用いて5倍速で引張試験を
行う。なお、接着剤の剥離面は、試験体の中からまんべんなく5箇所を採取し取る。
(判定)φ5N/mm²以上を達成していること、これを試験体とする。
また、試験体の剥離面は、試験体全体の平均値を1割の差で測定する。
T: 剥離面モルタルとタイルの界面断面、下板の界面断面
M: 剥離面モルタルとタイルの界面断面、下板の界面断面

② 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合
(試験体の作成) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板
N=30を下板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研削した後、水洗しを行い直ちに
(1)で調製した接着剤を厚さ5mmになるよう塗布する。直ちにJIS A 5301「セッコボ
ード」に規定するタイルを押し当て1分間圧着し、その後、90度の角コンクリート
タイルの寸法約300mm×300mm)を4種類、斜めに圧着する。その後、28日間、温度20±2、
湿度80%以上の状態で養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)「モザイクタイル」の場合と同様に行う。

(5) 接着剤 (標準) の試験方法
① 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々4
試験体(標準)の試験体の試験体とする。
(試験体)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS
A698「建築用タイル」に規定する110倍面積で試験に準じて行う。
(試験方法) JIS A698「建築用タイル」に規定する110倍面積で試験に準じて行う。
(判定)φ5N/mm²以上を達成していること、これを試験体とする。
また、試験体の剥離面は、試験体全体の平均値を1割の差で測定する。
T: 剥離面モルタルとタイルの界面断面、下板の界面断面
M: 剥離面モルタルとタイルの界面断面、下板の界面断面

(6) 長さ変化率の試験方法
JIS A6202「セメント混和珪砂入りポリマーセメント系樹脂入り形材成形品」9.9 長さ
変化率に準ずる。
(7) 引張強度の試験方法
JIS A916「建築用下地珪砂入り」の7.11 引張強度に準ずる。
(試験体の状態) 試験室は温度20±2、湿度65±10%とする。

試験項目	品質・性能	項目	品質・性能
引張強度	セメント系樹脂の90%以上	引張強度	50N/mm ² 以上
長さ変化率	0.2%以下(乾燥)	長さ変化率	1.0%/以下

(8) 試験条件
試験室は、温度20±2、湿度65±5%の標準状態とする。また、試験に使用する材料、
器具等は、予め24時間以上標準状態にいた後使用する。
(9) 試験方法
① 試験体の作成
試験体は、温度20±2、湿度65±5%の標準状態とする。また、試験に使用する材料、
器具等は、予め24時間以上標準状態にいた後使用する。
(10) 試験方法
① 試験体の作成
試験体は、温度20±2、湿度65±5%の標準状態とする。また、試験に使用する材料、
器具等は、予め24時間以上標準状態にいた後使用する。

試験項目	品質・性能	項目	品質・性能
引張強度	7.0N/mm ² 以上	長さ変化率	0.2%以下
引張強度	1.0N/mm ² 以上	長さ変化率	4.0N/mm ² 以上

37 塗装
改修工事
MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 [6. 13. 2. 3]
合板のホルムアルデヒド放数量
※標準仕様値1.7, 2.7, 2.0 (1)の(a)~(d)のいずれか

38 塗装
改修工事
MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 [6. 13. 2. 3]
合板のホルムアルデヒド放数量
※標準仕様値1.7, 2.7, 2.0 (1)の(a)~(d)のいずれか

39	鋼土塗料塗り	[7. 4. 2. 3]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・鋼土塗料 ・鋼土塗料		・接着工法	※ なら	1.5	・

40	仕上り塗料塗り	[7. 5. 2-7, 13. 2]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・仕上り塗料 ・仕上り塗料		・接着工法	※ なら	1.5	・

41	鋼土塗料塗り	[7. 5. 2-7, 13. 2]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・鋼土塗料 ・鋼土塗料		・接着工法	※ なら	1.5	・

42	鋼土塗料塗り	[7. 5. 2-7, 13. 2]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・鋼土塗料 ・鋼土塗料		・接着工法	※ なら	1.5	・

43	鋼土塗料塗り	[7. 5. 2-7, 13. 2]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・鋼土塗料 ・鋼土塗料		・接着工法	※ なら	1.5	・

44	鋼土塗料塗り	[7. 5. 2-7, 13. 2]			
		種別	工法	種別	厚さ (mm)
・鋼土塗料 ・鋼土塗料		・接着工法	※ なら	1.5	・

45 鋼土塗料塗り
MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 [6. 13. 2. 3]
合板のホルムアルデヒド放数量
※標準仕様値1.7, 2.7, 2.0 (1)の(a)~(d)のいずれか

9	反点検口	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> アルミニウム製 ステンレス製 樹脂 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 450×450 ※ 300×300 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 一級形 ・ 屋内外用 ・ 密閉形 ・ 屋内用 </td> <td>・ 鍵付き</td> </tr> <tr> <td colspan="4">密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。 (品質・性能)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">製品名</td> <td>材質</td> <td>屋内外用</td> <td>屋内用</td> </tr> <tr> <td>受付け材</td> <td>亜鉛付</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材 (表面処理) JIS H 4100のA6063S-T5 又は JIS H 8602のB2又は JIS H 8601のA415</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) H又は2B仕上げ程度</td> <td></td> <td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) H又は2B仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>銅製</td> <td>—</td> <td></td> <td>標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさき止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td></td> <td>二重壁の中壁</td> <td>種類 JIS G 5501のF150、F200 その他 強化ビニル樹脂製等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目地材</td> <td>黄銅 JIS H 3100 のC280、C270、C280 ステンレス JIS G 4305のSUS304、SUS430J1又はSUS443J1 JIS G 4305のSUS304</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>底板材コーナーピース兼採油材料</td> <td>ステンレス板 JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 アルミニウム板 JIS H 4100のA6063S-T5 表面処理：陽極酸化処理 合板版 JIS H 8601 (A415) JIS H 8802 (B)</td> <td></td> <td>JIS G 4305のSUS430</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パッキン材</td> <td>強化ビニル系ゴム、軟質強化ビニル、クロロプレン、スポンジゴム、エチレンプロピレン等特許の材料、形状に適した弾力性、密着性を有するもの</td> <td></td> <td>銅製又は JIS G 2313にメッキ処理後付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさき止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンカー材</td> <td>鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆処理を行ったもの</td> <td></td> <td>黄銅板製、黄銅製、アルミニウム押し出し形・合金鋳造製、ステンレス鋼製、ステンレス製等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>取手</td> <td>ステンレス鋼製、アルミニウム押し出し形など設置した、合成樹脂製のものは、実質による変形・割れが生じないものとする</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>鍵</td> <td>黄銅製、ステンレス鋼製、亜鉛合金製とする 黄銅・樹脂は、鍵又は取手用ハンドル式とする</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>高の耐荷重性能</td> <td>亜中央部が荷重P=1,000Nにおいて変位wが点検口の有効径の0.1%以内であること。 有効径、指すその他の荷重wと変位wがないこと。 破壊荷重は、荷重表の2倍以上であること。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>受け付け法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け付けと蓋付のクリアランス 合動2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、強固とし、100mm角程度、押込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋付の四角を支持せ、蓋の中央部に0.50mmの加圧板を置き、加圧する。 本試験前1200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を繰り返した後、その後試験体が破壊する（壊断荷重）まで加圧する。 測定は、亜中央部にかかる加圧を200N増す毎にわみと受け付けの変形その他の測定について1,000Nまで回繰り返す。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材料	寸法 (mm)	形式	備考	<ul style="list-style-type: none"> アルミニウム製 ステンレス製 樹脂 	<ul style="list-style-type: none"> 450×450 ※ 300×300 	<ul style="list-style-type: none"> 一級形 ・ 屋内外用 ・ 密閉形 ・ 屋内用 	・ 鍵付き	密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。 (品質・性能)				製品名		材質	屋内外用	屋内用	受付け材	亜鉛付	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材 (表面処理) JIS H 4100のA6063S-T5 又は JIS H 8602のB2又は JIS H 8601のA415				ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) H又は2B仕上げ程度		JIS G 4305のSUS430 (表面処理) H又は2B仕上げ程度		銅製	—		標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさき止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの		二重壁の中壁	種類 JIS G 5501のF150、F200 その他 強化ビニル樹脂製等				目地材	黄銅 JIS H 3100 のC280、C270、C280 ステンレス JIS G 4305のSUS304、SUS430J1又はSUS443J1 JIS G 4305のSUS304				底板材コーナーピース兼採油材料	ステンレス板 JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 アルミニウム板 JIS H 4100のA6063S-T5 表面処理：陽極酸化処理 合板版 JIS H 8601 (A415) JIS H 8802 (B)		JIS G 4305のSUS430		パッキン材	強化ビニル系ゴム、軟質強化ビニル、クロロプレン、スポンジゴム、エチレンプロピレン等特許の材料、形状に適した弾力性、密着性を有するもの		銅製又は JIS G 2313にメッキ処理後付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさき止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの		アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆処理を行ったもの		黄銅板製、黄銅製、アルミニウム押し出し形・合金鋳造製、ステンレス鋼製、ステンレス製等		取手	ステンレス鋼製、アルミニウム押し出し形など設置した、合成樹脂製のものは、実質による変形・割れが生じないものとする				鍵	黄銅製、ステンレス鋼製、亜鉛合金製とする 黄銅・樹脂は、鍵又は取手用ハンドル式とする				高の耐荷重性能	亜中央部が荷重P=1,000Nにおいて変位wが点検口の有効径の0.1%以内であること。 有効径、指すその他の荷重wと変位wがないこと。 破壊荷重は、荷重表の2倍以上であること。				受け付け法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け付けと蓋付のクリアランス 合動2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、強固とし、100mm角程度、押込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋付の四角を支持せ、蓋の中央部に0.50mmの加圧板を置き、加圧する。 本試験前1200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を繰り返した後、その後試験体が破壊する（壊断荷重）まで加圧する。 測定は、亜中央部にかかる加圧を200N増す毎にわみと受け付けの変形その他の測定について1,000Nまで回繰り返す。			
		材料	寸法 (mm)	形式	備考																																																																										
<ul style="list-style-type: none"> アルミニウム製 ステンレス製 樹脂 	<ul style="list-style-type: none"> 450×450 ※ 300×300 	<ul style="list-style-type: none"> 一級形 ・ 屋内外用 ・ 密閉形 ・ 屋内用 	・ 鍵付き																																																																												
密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。 (品質・性能)																																																																															
製品名		材質	屋内外用	屋内用																																																																											
受付け材	亜鉛付	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材 (表面処理) JIS H 4100のA6063S-T5 又は JIS H 8602のB2又は JIS H 8601のA415																																																																													
	ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) H又は2B仕上げ程度		JIS G 4305のSUS430 (表面処理) H又は2B仕上げ程度																																																																											
	銅製	—		標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさき止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																											
	二重壁の中壁	種類 JIS G 5501のF150、F200 その他 強化ビニル樹脂製等																																																																													
	目地材	黄銅 JIS H 3100 のC280、C270、C280 ステンレス JIS G 4305のSUS304、SUS430J1又はSUS443J1 JIS G 4305のSUS304																																																																													
	底板材コーナーピース兼採油材料	ステンレス板 JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 アルミニウム板 JIS H 4100のA6063S-T5 表面処理：陽極酸化処理 合板版 JIS H 8601 (A415) JIS H 8802 (B)		JIS G 4305のSUS430																																																																											
	パッキン材	強化ビニル系ゴム、軟質強化ビニル、クロロプレン、スポンジゴム、エチレンプロピレン等特許の材料、形状に適した弾力性、密着性を有するもの		銅製又は JIS G 2313にメッキ処理後付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさき止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																											
	アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆処理を行ったもの		黄銅板製、黄銅製、アルミニウム押し出し形・合金鋳造製、ステンレス鋼製、ステンレス製等																																																																											
	取手	ステンレス鋼製、アルミニウム押し出し形など設置した、合成樹脂製のものは、実質による変形・割れが生じないものとする																																																																													
	鍵	黄銅製、ステンレス鋼製、亜鉛合金製とする 黄銅・樹脂は、鍵又は取手用ハンドル式とする																																																																													
	高の耐荷重性能	亜中央部が荷重P=1,000Nにおいて変位wが点検口の有効径の0.1%以内であること。 有効径、指すその他の荷重wと変位wがないこと。 破壊荷重は、荷重表の2倍以上であること。																																																																													
	受け付け法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け付けと蓋付のクリアランス 合動2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、強固とし、100mm角程度、押込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋付の四角を支持せ、蓋の中央部に0.50mmの加圧板を置き、加圧する。 本試験前1200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を繰り返した後、その後試験体が破壊する（壊断荷重）まで加圧する。 測定は、亜中央部にかかる加圧を200N増す毎にわみと受け付けの変形その他の測定について1,000Nまで回繰り返す。																																																																														
10	手すり	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 黒亜鉛 ステンレスパイプ 樹脂パイプ ビニル製ハンドル </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> クリラッカー エポキシ SOP EP-G </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 35・45 </td> <td></td> </tr> </table>	材料	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	<ul style="list-style-type: none"> 黒亜鉛 ステンレスパイプ 樹脂パイプ ビニル製ハンドル 	<ul style="list-style-type: none"> クリラッカー エポキシ SOP EP-G 	<ul style="list-style-type: none"> 35・45 																																																																						
		材料	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																																																										
<ul style="list-style-type: none"> 黒亜鉛 ステンレスパイプ 樹脂パイプ ビニル製ハンドル 	<ul style="list-style-type: none"> クリラッカー エポキシ SOP EP-G 	<ul style="list-style-type: none"> 35・45 																																																																													
	壁及び下がり壁と天井の取合いの取付線 (天井見切線、下がり壁見切線) の材種 ※ アルミニウム板製品 ・ ビニル製品																																																																														
11	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの取付線 (天井見切線、下がり壁見切線) の材種 ※ アルミニウム板製品 ・ ビニル製品																																																																													
12	視察調査者用床 タイル (視察調査者専用ブロック)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 強化ビニル製 セラミックタイル レジンコンクリート製 コンクリート製 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ 10 ※ 10 ※ 10 ※ 10 </td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> セラミックタイル レジンコンクリート製 コンクリート製 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ 10 ※ 10 ※ 10 </td> </tr> </table>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	<ul style="list-style-type: none"> 強化ビニル製 セラミックタイル レジンコンクリート製 コンクリート製 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 10 ※ 10 ※ 10 ※ 10 	屋外	<ul style="list-style-type: none"> セラミックタイル レジンコンクリート製 コンクリート製 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 10 ※ 10 ※ 10 																																																																	
		施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																										
屋内	<ul style="list-style-type: none"> 強化ビニル製 セラミックタイル レジンコンクリート製 コンクリート製 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 10 ※ 10 ※ 10 ※ 10 																																																																												
屋外	<ul style="list-style-type: none"> セラミックタイル レジンコンクリート製 コンクリート製 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 10 ※ 10 ※ 10 																																																																												
	突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による																																																																														
⑬	鉄筋	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1) (表5.2.1)</th> </tr> <tr> <th>種別の記号</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ S D 2 9 5 A</td> <td>※ D 1 6 以下</td> </tr> <tr> <td>※ S D 3 4 5</td> <td>※ D 1 9 以上</td> </tr> </table>	8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1) (表5.2.1)		種別の記号	備考	※ S D 2 9 5 A	※ D 1 6 以下	※ S D 3 4 5	※ D 1 9 以上																																																																					
		8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1) (表5.2.1)																																																																													
種別の記号	備考																																																																														
※ S D 2 9 5 A	※ D 1 6 以下																																																																														
※ S D 3 4 5	※ D 1 9 以上																																																																														
14	消液金網	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 消液金網</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 鉄釘付</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)		種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※ 消液金網			※ 鉄釘付																																																																				
		8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)																																																																													
種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																													
※ 消液金網																																																																															
※ 鉄釘付																																																																															
⑮	鉄筋の継手及び定着	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)</th> </tr> <tr> <th>鉄筋の継手の劣等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 重ね継ぎ手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※ 4 0 d と標準仕様書表 5.3.2 の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋の定着長さ ※ 柱に打ち付ける束の引っ張り鉄筋の標準定着長さは4 0 d 以上とし、それ以外は標準仕様書表 5.3.4 による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 原則による 種類 鋼筋圧接板合 ・鋼合グラウト固定 ・板合グラウト固定</td> <td></td> </tr> </table>	8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)		鉄筋の継手の劣等	備考	※ 重ね継ぎ手		鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※ 4 0 d と標準仕様書表 5.3.2 の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする		鉄筋の定着長さ ※ 柱に打ち付ける束の引っ張り鉄筋の標準定着長さは4 0 d 以上とし、それ以外は標準仕様書表 5.3.4 による		機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 原則による 種類 鋼筋圧接板合 ・鋼合グラウト固定 ・板合グラウト固定																																																																		
		8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)																																																																													
鉄筋の継手の劣等	備考																																																																														
※ 重ね継ぎ手																																																																															
鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※ 4 0 d と標準仕様書表 5.3.2 の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする																																																																															
鉄筋の定着長さ ※ 柱に打ち付ける束の引っ張り鉄筋の標準定着長さは4 0 d 以上とし、それ以外は標準仕様書表 5.3.4 による																																																																															
機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 原則による 種類 鋼筋圧接板合 ・鋼合グラウト固定 ・板合グラウト固定																																																																															
⑯	コンクリートの保型 単位容積質量による 種類及び強度等	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)</th> </tr> <tr> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 2 4 ○ 2 1</td> <td>※ 標準仕様書表6.2.2による</td> <td>※ コンクリート合て (新設コンクリートを除く)</td> </tr> </table>	8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)			設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (cm)	適用箇所	※ 2 4 ○ 2 1	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート合て (新設コンクリートを除く)																																																																				
		8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)																																																																													
設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (cm)	適用箇所																																																																													
※ 2 4 ○ 2 1	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート合て (新設コンクリートを除く)																																																																													
⑰	セメント	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">(6.3.1)</th> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類		(6.3.1)		普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種																																																																								
		種類		(6.3.1)																																																																											
普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種																																																																															
⑱	型枠	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)</th> </tr> <tr> <th>せき板の材料</th> <th>※ 合板 厚さ (※ 12mm) ・メッシュ型枠 ・断熱材を裏付した型枠 厚さ25mm以下かつ熱伝係数1m²・k・℃⁻¹以上</th> </tr> </table>	8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)		せき板の材料	※ 合板 厚さ (※ 12mm) ・メッシュ型枠 ・断熱材を裏付した型枠 厚さ25mm以下かつ熱伝係数1m ² ・k・℃ ⁻¹ 以上																																																																									
		8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)																																																																													
せき板の材料	※ 合板 厚さ (※ 12mm) ・メッシュ型枠 ・断熱材を裏付した型枠 厚さ25mm以下かつ熱伝係数1m ² ・k・℃ ⁻¹ 以上																																																																														
19	無筋コンクリート	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)</th> </tr> <tr> <th>種 類</th> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランプ (mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>※ 普通コンクリート</td> <td>※ 1 8</td> <td>※ 1 5</td> <td>※ 標準仕様書表14.1(4) (7)~(9)による</td> </tr> </table>	8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)			種 類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (mm)	施 工 箇 所	※ 普通コンクリート	※ 1 8	※ 1 5	※ 標準仕様書表14.1(4) (7)~(9)による																																																																		
		8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)																																																																													
種 類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (mm)	施 工 箇 所																																																																												
※ 普通コンクリート	※ 1 8	※ 1 5	※ 標準仕様書表14.1(4) (7)~(9)による																																																																												
20	底コンクリート 置りし上げ	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">(8.1.4) (表8.1.5)</th> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5c</td> <td></td> <td>施工箇所</td> </tr> <tr> <td>a種</td> <td>合成樹脂塗床、ビニル系床材等、床コンクリート直向仕上げ、フローアークスフロア (置き敷)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>タイル張り、モルタル張り、フローアークスフロア (支柱設置式)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類		(8.1.4) (表8.1.5)		普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種				仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5c			施工箇所	a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材等、床コンクリート直向仕上げ、フローアークスフロア (置き敷)			b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材等			c種	タイル張り、モルタル張り、フローアークスフロア (支柱設置式)																																																							
		種類		(8.1.4) (表8.1.5)																																																																											
普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種																																																																															
仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5c			施工箇所																																																																												
a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材等、床コンクリート直向仕上げ、フローアークスフロア (置き敷)																																																																														
b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材等																																																																														
c種	タイル張り、モルタル張り、フローアークスフロア (支柱設置式)																																																																														
21	あと施工アンカー	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない (14.1.3)</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> </table>	6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない (14.1.3)		種類	備考																																																																									
		6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない (14.1.3)																																																																													
種類	備考																																																																														
22	トイレーブス	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">(2.0.2.5)</th> </tr> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>形状 ※ アルミニウム製 ※ 黒木タイプ ・ステンレス製 ・表面材目材</td> <td></td> </tr> </table>	(2.0.2.5)			表面材の材料	脚部	ドアエッジ	メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	形状 ※ アルミニウム製 ※ 黒木タイプ ・ステンレス製 ・表面材目材																																																																					
		(2.0.2.5)																																																																													
表面材の材料	脚部	ドアエッジ																																																																													
メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	形状 ※ アルミニウム製 ※ 黒木タイプ ・ステンレス製 ・表面材目材																																																																														

⑰	コンクリートの保型 単位容積質量による 種類及び強度等	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)</th> </tr> <tr> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 2 4 ○ 2 1</td> <td>※ 標準仕様書表6.2.2による</td> <td>※ コンクリート合て (新設コンクリートを除く)</td> </tr> </table>	8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)			設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (cm)	適用箇所	※ 2 4 ○ 2 1	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート合て (新設コンクリートを除く)															
		8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)																								
設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (cm)	適用箇所																								
※ 2 4 ○ 2 1	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート合て (新設コンクリートを除く)																								
⑰	セメント	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">(6.3.1)</th> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類		(6.3.1)		普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種																			
		種類		(6.3.1)																						
普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種																										
⑱	型枠	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)</th> </tr> <tr> <th>せき板の材料</th> <th>※ 合板 厚さ (※ 12mm) ・メッシュ型枠 ・断熱材を裏付した型枠 厚さ25mm以下かつ熱伝係数1m²・k・℃⁻¹以上</th> </tr> </table>	8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)		せき板の材料	※ 合板 厚さ (※ 12mm) ・メッシュ型枠 ・断熱材を裏付した型枠 厚さ25mm以下かつ熱伝係数1m ² ・k・℃ ⁻¹ 以上																				
		8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)																								
せき板の材料	※ 合板 厚さ (※ 12mm) ・メッシュ型枠 ・断熱材を裏付した型枠 厚さ25mm以下かつ熱伝係数1m ² ・k・℃ ⁻¹ 以上																									
19	無筋コンクリート	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)</th> </tr> <tr> <th>種 類</th> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランプ (mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>※ 普通コンクリート</td> <td>※ 1 8</td> <td>※ 1 5</td> <td>※ 標準仕様書表14.1(4) (7)~(9)による</td> </tr> </table>	8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)			種 類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (mm)	施 工 箇 所	※ 普通コンクリート	※ 1 8	※ 1 5	※ 標準仕様書表14.1(4) (7)~(9)による													
		8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)																								
種 類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (mm)	施 工 箇 所																							
※ 普通コンクリート	※ 1 8	※ 1 5	※ 標準仕様書表14.1(4) (7)~(9)による																							
20	底コンクリート 置りし上げ	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">(8.1.4) (表8.1.5)</th> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5c</td> <td></td> <td>施工箇所</td> </tr> <tr> <td>a種</td> <td>合成樹脂塗床、ビニル系床材等、床コンクリート直向仕上げ、フローアークスフロア (置き敷)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>タイル張り、モルタル張り、フローアークスフロア (支柱設置式)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類		(8.1.4) (表8.1.5)		普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種				仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5c			施工箇所	a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材等、床コンクリート直向仕上げ、フローアークスフロア (置き敷)			b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材等			c種	タイル張り、モルタル張り、フローアークスフロア (支柱設置式)		
		種類		(8.1.4) (表8.1.5)																						
普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種																										
仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5c			施工箇所																							
a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材等、床コンクリート直向仕上げ、フローアークスフロア (置き敷)																									
b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材等																									
c種	タイル張り、モルタル張り、フローアークスフロア (支柱設置式)																									
21	あと施工アンカー	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない (14.1.3)</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> </table>	6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない (14.1.3)		種類	備考																				
		6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない (14.1.3)																								
種類	備考																									
22	トイレーブス	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">(2.0.2.5)</th> </tr> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>形状 ※ アルミニウム製 ※ 黒木タイプ ・ステンレス製 ・表面材目材</td> <td></td> </tr> </table>	(2.0.2.5)			表面材の材料	脚部	ドアエッジ	メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	形状 ※ アルミニウム製 ※ 黒木タイプ ・ステンレス製 ・表面材目材																
		(2.0.2.5)																								
表面材の材料	脚部	ドアエッジ																								
メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	形状 ※ アルミニウム製 ※ 黒木タイプ ・ステンレス製 ・表面材目材																									

⑰	コンクリートの保型 単位容積質量による 種類及び強度等	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)</th> </tr> <tr> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 2 4 ○ 2 1</td> <td>※ 標準仕様書表6.2.2による</td> <td>※ コンクリート合て (新設コンクリートを除く)</td> </tr> </table>	8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)			設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (cm)	適用箇所	※ 2 4 ○ 2 1	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート合て (新設コンクリートを除く)															
		8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)																								
設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (cm)	適用箇所																								
※ 2 4 ○ 2 1	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート合て (新設コンクリートを除く)																								
⑰	セメント	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">(6.3.1)</th> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類		(6.3.1)		普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種																			
		種類		(6.3.1)																						
普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種																										
⑱	型枠	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)</th> </tr> <tr> <th>せき板の材料</th> <th>※ 合板 厚さ (※ 12mm) ・メッシュ型枠 ・断熱材を裏付した型枠 厚さ25mm以下かつ熱伝係数1m²・k・℃⁻¹以上</th> </tr> </table>	8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)		せき板の材料	※ 合板 厚さ (※ 12mm) ・メッシュ型枠 ・断熱材を裏付した型枠 厚さ25mm以下かつ熱伝係数1m ² ・k・℃ ⁻¹ 以上																				
		8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)																								
せき板の材料	※ 合板 厚さ (※ 12mm) ・メッシュ型枠 ・断熱材を裏付した型枠 厚さ25mm以下かつ熱伝係数1m ² ・k・℃ ⁻¹ 以上																									
19	無筋コンクリート	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)</th> </tr> <tr> <th>種 類</th> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランプ (mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>※ 普通コンクリート</td> <td>※ 1 8</td> <td>※ 1 5</td> <td>※ 標準仕様書表14.1(4) (7)~(9)による</td> </tr> </table>	8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)			種 類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (mm)	施 工 箇 所	※ 普通コンクリート	※ 1 8	※ 1 5	※ 標準仕様書表14.1(4) (7)~(9)による													
		8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)																								
種 類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (mm)	施 工 箇 所																							
※ 普通コンクリート	※ 1 8	※ 1 5	※ 標準仕様書表14.1(4) (7)~(9)による																							
20	底コンクリート 置りし上げ	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">(8.1.4) (表8.1.5)</th> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5c</td> <td></td> <td>施工箇所</td> </tr> <tr> <td>a種</td> <td>合成樹脂塗床、ビニル系床材等、床コンクリート直向仕上げ、フローアークスフロア (置き敷)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>タイル張り、モルタル張り、フローアークスフロア (支柱設置式)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類		(8.1.4) (表8.1.5)		普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種				仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5c			施工箇所	a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材等、床コンクリート直向仕上げ、フローアークスフロア (置き敷)			b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材等			c種	タイル張り、モルタル張り、フローアークスフロア (支柱設置式)		
		種類		(8.1.4) (表8.1.5)																						
普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント4種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種																										
仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5c			施工箇所																							
a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材等、床コンクリート直向仕上げ、フローアークスフロア (置き敷)																									
b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材等																									
c種	タイル張り、モルタル張り、フローアークスフロア (支柱設置式)																									
21	あと施工アンカー	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない (14.1.3)</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> </table>	6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない (14.1.3)		種類	備考																				
		6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章新設改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない (14.1.3)																								
種類	備考																									
22	トイレーブス	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">(2.0.2.5)</th> </tr> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>形状 ※ アルミニウム製 ※ 黒木タイプ ・ステンレス製 ・表面材目材</td> <td></td> </tr> </table>	(2.0.2.5)			表面材の材料	脚部	ドアエッジ	メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	形状 ※ アルミニウム製 ※ 黒木タイプ ・ステンレス製 ・表面材目材																
		(2.0.2.5)																								
表面材の材料	脚部	ドアエッジ																								
メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	形状 ※ アルミニウム製 ※ 黒木タイプ ・ステンレス製 ・表面材目材																									

令和5年度 公共下水道事業(雨水)			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事(下北方雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 下北方一丁目		
図面番号	A-8	縮尺	-
図面名	建築改修工事特記仕様書(8)		
三原市			

建築構造部材の新設性能に係る特記事項		特記事項		RC壁に設置する特定窓等及び強弱特種扉		その他の構造部材		フリーアクセスフロア		20章 フリーアクセスフロアの特記事項による		
建築設計基準	項目	特記事項		特定窓等及び強弱特種扉の設置位置	A D E D S S O	RC壁に設置する特定窓等及び強弱特種扉	その他の構造部材	フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア	20章 フリーアクセスフロアの特記事項による		
外壁	種別 CW(メタルPCa)	CW工事 取付方法、性能等		ガラス	ガラス	RC壁に設置する特定窓等及び強弱特種扉 ・前壁ドア ・面内変形特性の等級(・) (建具特号※建具表による)	その他の構造部材	フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア	20章 フリーアクセスフロアの特記事項による		
		地震力に対する安全性				重量がある扉 以下の設計用震度の地震力に対して、応力が生じないものとする。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度(K _H) ※1.0 設計用鉛直震度(K _V) ※0.5 (建具特号※建具表による)	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント				
		構造体の閉閉変形に対する適合性				構造体の閉閉変形に対する適合性 以下の構造体の閉閉変形に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。 閉閉変形角 ・1/100 ・1/200 ／	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント				
		閉閉変形角				閉閉変形角 左記の閉閉変形角に対して、脱落しないこと ・1/100 ・1/200 ・	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント				
ALCパネル	種別 ALCパネル	外壁パネルの耐震性		天井	特定天井 軽量鉄骨天井(特定天井)	RC壁に設置する特定窓等及び強弱特種扉 ・前壁ドア ・面内変形特性の等級(・) (建具特号※建具表による)	その他の構造部材	フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア	20章 フリーアクセスフロアの特記事項による		
		地震力に対する安全性				重量がある扉 以下の設計用震度の地震力に対して、応力が生じないものとする。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度(K _H) ※1.0 設計用鉛直震度(K _V) ※0.5 (建具特号※建具表による)	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント				
		構造体の閉閉変形に対する適合性				構造体の閉閉変形に対する適合性 以下の構造体の閉閉変形に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。 閉閉変形角 ・1/100 ・1/200 ／	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント				
		閉閉変形角				閉閉変形角 左記の閉閉変形角に対して、脱落しないこと ・1/100 ・1/200 ・	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント				
押出成形ポリ板(ECP)	種別 外壁パネルの耐震性	外壁パネルの耐震性		天井	システム天井	RC壁に設置する特定窓等及び強弱特種扉 ・前壁ドア ・面内変形特性の等級(・) (建具特号※建具表による)	その他の構造部材	フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア	20章 フリーアクセスフロアの特記事項による		
		地震力に対する安全性				重量がある扉 以下の設計用震度の地震力に対して、応力が生じないものとする。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度(K _H) ※1.0 設計用鉛直震度(K _V) ※0.5 (建具特号※建具表による)	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント				
		構造体の閉閉変形に対する適合性				構造体の閉閉変形に対する適合性 以下の構造体の閉閉変形に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。 閉閉変形角 ・1/100 ・1/200 ／	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント				
		閉閉変形角				閉閉変形角 左記の閉閉変形角に対して、脱落しないこと ・1/100 ・1/200 ・	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント				
外壁	柱上げ	種別 石工事	外壁パネルの耐震性		天井	システム天井	RC壁に設置する特定窓等及び強弱特種扉 ・前壁ドア ・面内変形特性の等級(・) (建具特号※建具表による)	その他の構造部材	フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア	20章 フリーアクセスフロアの特記事項による	
			地震力に対する安全性				重量がある扉 以下の設計用震度の地震力に対して、応力が生じないものとする。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度(K _H) ※1.0 設計用鉛直震度(K _V) ※0.5 (建具特号※建具表による)	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント			
			構造体の閉閉変形に対する適合性				構造体の閉閉変形に対する適合性 以下の構造体の閉閉変形に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。 閉閉変形角 ・1/100 ・1/200 ／	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント			
			閉閉変形角				閉閉変形角 左記の閉閉変形角に対して、脱落しないこと ・1/100 ・1/200 ・	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント			
外壁	種別 石工事	外壁パネルの耐震性		天井	システム天井	RC壁に設置する特定窓等及び強弱特種扉 ・前壁ドア ・面内変形特性の等級(・) (建具特号※建具表による)	その他の構造部材	フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア	20章 フリーアクセスフロアの特記事項による		
		地震力に対する安全性				重量がある扉 以下の設計用震度の地震力に対して、応力が生じないものとする。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度(K _H) ※1.0 設計用鉛直震度(K _V) ※0.5 (建具特号※建具表による)	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント				
		構造体の閉閉変形に対する適合性				構造体の閉閉変形に対する適合性 以下の構造体の閉閉変形に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。 閉閉変形角 ・1/100 ・1/200 ／	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント				
		閉閉変形角				閉閉変形角 左記の閉閉変形角に対して、脱落しないこと ・1/100 ・1/200 ・	エクスパンションジョイント	エクスパンションジョイント				

材質	閉閉変形	建築物間のクリアランス(mm)	変位許容値(mm)	耐火性能	断熱性能	備考
・アルミ ・ニムロ ・ステンレス製	() 階 ～() 階	・50 ・100 ・150	・(超)結露の ・(疾) 疾 ・以上 ・(その他) 以上	・有り ・無し	・有り ・無し	
・アルミ ・ニムロ ・ステンレス製	() 階 ～() 階	・50 ・100 ・150	・(超)結露の ・(疾) 疾 ・以上 ・(その他) 以上	・有り ・無し	・有り ・無し	

外側に設置するものは、防水型とする。
エクスパンションジョイントカバーには、液漏防止措置を講じる。

固定方法
・壁固定(窓枠)
・床固定(窓枠)

以下の設計用震度の地震力に対する引抜き力に対して、窓枠金具に生じる応力が所定の耐力範囲内にあり、有害な残留ひずみが生じないものとする。ただし、所定の耐力範囲内にある事の確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度(K_H) ※1.0
設計用鉛直震度(K_V) ※0.5
(建具特号※建具表による)

窓名称	設置場所	備考
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・

・軽量鉄骨壁下地等への補強(※図面・)
※収納物の取付防止措置(ラッチ機構、ロック機構等)を講ずる。

令和5年度 公共下水道事業(雨水)			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事(下北方雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 下北方一丁目		
図面番号	A-9	縮尺	-
図面名	建築改修工事特記仕様書(9)		
三原市			

特記仕様書(構造関係)

Table with 2 columns: ⑧ 耐震改修工事 共通事項 and ⑧-1 鉄筋工事. It contains detailed specifications for reinforcement work, including material types, dimensions, and construction methods.

Table with 2 columns: ① 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 and 5 圧検完了後の圧検後の試験. It details the required cover and spacing for reinforcement bars and the testing procedures after pressure testing.

Table with 2 columns: ① コンクリートの種類 and ② コンクリートの強度. It specifies the types of concrete to be used and the required strength and quality standards.

Table with 2 columns: ⑬ 打掛し厚さ(打掛し仕上げ部) and ⑭ 型枠. It describes the requirements for formwork and the thickness of the concrete slabs, including material and construction details.

令和5年度 公共下水道事業(雨水)
工事名: 雨水排水ポンプ場耐水化工事(下北方雨水ポンプ場)
工事場所: 三原市 下北方一丁目
図面番号: A-10 縮尺: -
図面名: 建築改修工事特記仕様書(10)
三原市

4	高カボルト	高カボルトの種類 ※トランシ形高カボルト 2種 (S107) ・ JIS形高カボルト 2種 (F101)	[8.2.9]	11	溶接作業を行う 技能資格者の 技量付加試験	[8.15.3]	8-4 ①	あと施工アンカー	材料等 ◎鉄筋系アンカー アンカーの種類 ※カプセル方式固結・打撃式 接合部の品質 ◎鋼筋系 アンカーの径及び埋込み長さ ※構造図による アンカー筋の種類 ◎O10(13) アンカー筋の前後壁内への定着の長さ ※構造図による ◎性能保証試験 試験方法及び試験数 ※構造図による ・金属系アンカー アンカー本体の径及び埋込み長さ ※構造図による セット方式 ※本体打込み式改良型 接合部の種類、径、長さ ※構造図による ・性能保証試験 試験方法及び試験数 ※構造図による 埋込み配管等の設置方法 ※鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる	[8.2.4]	8-7 耐震スリット新設工事	1	耐震スリットの 方式、幅及び深さ	方式 ・完全 ・部分 幅及び深さ ※構造図による 設置箇所 ※構造図による	[8.25.2]				
		ボルトの繰繰距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-1 繰繰距離及びボルト間隔 ※構造図による 繰繰面の処理方法 ※自然発露(腐食等を除去した後に自然放置して表面に赤さびが発生した状態) ・ プラス処理(表面粗度50µmRz以上) ・ すべり試験の実施 ※すべり係数試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(f)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[8.13.2]		[8.15.4]	[8.15.7]			[8.12.4]	2		耐震スリットの 施工時の埋込み 配管等の設置	既存建築物の埋込み配管等の調査方法 ※鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつりだしによる	[8.12.4]					
5	溶融巨粒のつき 高カボルト	セットの種類 ※種別(3B)相当 ボルトの繰繰距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-1 繰繰距離及びボルト間隔 ※構造図による 繰繰面の処理方法等 ※プラス処理(表面粗度50µmRz以上)又はりん酸塩処理 ・ 構造図による ・ すべり試験の実施 ※すべり係数試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(f)又は(f)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[8.13.2]	[8.20.5]	13	入熱、バス間置板の 溶接条件	[8.15.7]	②	穿孔	[8.12.4]	③	施工確認試験	[8.12.7]	8-8 土工事及び 地業工事	1	埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土の材料及び工法 ※改修標準仕様書 8.28.3(2)(ウ)表 8.28.3による ・ 構造 適用箇所() ・ B種 適用箇所() 土質() 受渡場所() ・ C種 適用箇所() ・ 材料() 高質 細粒分(75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする	[8.25.2]	
		溶接面の処理方法等 ※構造図による すべり試験の実施 ※すべり係数試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(f)又は(f)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[8.13.2]	[8.15.7]		[8.12.7]	[8.25.2]		[8.25.2]	[8.25.2]		[8.25.2]	[8.25.2]						
6	普通ボルト	ボルト及びナットの種類 ※鉄骨仕様書 表7.2.3(3)鋼骨構造用ボルト及びナット ※ボルトの繰繰距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-1 繰繰距離及びボルト間隔 ※構造図による 繰繰面の処理方法等 ※プラス処理(表面粗度50µmRz以上)又はりん酸塩処理 ・ 構造図による ・ すべり試験の実施 ※すべり係数試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(f)又は(f)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[7.2.3]	[8.13.2]	14	溶接部の試験	[8.15.12]	8-5 グラウト 土工事	1	柱壁均しモルタル 及びグラウト材	[8.12.2]	1	山崖の掘削	[8.28.3]	3	杭地業	支保脚の位置及び土質(基礎への先端位置含む) ※構造図による 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ・ 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ※構造図による 杭の継手の溶接、材料、工法等 ※構造図による 杭の溶接手 技能資格者の技量 ※構造図による 溶接部の確認 ※構造図による 処理方法 切断にともなう補修方法含む ※構造図による ・ 杭の中間材料 ・ 基礎のコンクリートと同質のもの ※構造図による 杭の精度 水平方法の位置ずれ ・ 径程の1/40~1/100mm以下 杭の径公差 ・ 1/1000以内 ※構造図による 記録する施工状況等 ※構造図による	[8.28.3]	
		ボルト及びナットの材料 ※鉄骨仕様書 表7.2.3(3)鋼骨構造用ボルト及びナット ※ボルトの繰繰距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-1 繰繰距離及びボルト間隔 ※構造図による 繰繰面の処理方法等 ※プラス処理(表面粗度50µmRz以上)又はりん酸塩処理 ・ 構造図による ・ すべり試験の実施 ※すべり係数試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(f)又は(f)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[7.2.3]	[8.15.12]		[8.12.2]	[8.28.3]		[8.28.3]	[8.28.3]	[8.28.3]		[8.28.3]	[8.28.3]		[8.28.3]	[8.28.3]		
7	アンカーボルト	構造用アンカーボルト セットの種類 JIS B 1220 ・ AFR400 ・ AFR400 ・ 埋方用アンカーボルト 種類 ・ SS400 ・ アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ・ 構造図による ・ 標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト 適用箇所 ・ 図示による() ・ SS400 ・ アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による	[7.2.4]	[7.3.2]	15	錆止め塗装	[8.17.2]	8-6 連続補強シート	1	連続補強シート	[8.2.13]	4	砂利地業	[8.2.15]	5	控コンクリート地業	控コンクリートの厚さ ※50mm コンクリートの種類 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18(N/mm ²) スラフ ※15cm又は18cm	[8.2.14]	
		ボルトの繰繰距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-1 繰繰距離及びボルト間隔 ※構造図による	[8.13.2]	[8.17.2]		[8.2.13]	[8.2.13]		[8.2.15]	[8.28.4]	[8.28.4]		[8.2.15]	[8.28.4]					
8	溶接材料	溶接材料 ・ 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 構造図による	[8.2.10]	16	耐火被覆	[8.18.2~8]	8-6 連続補強シート	2	仕上げ	[8.2.47]	17	アンカーボルト等の 設置等	[7.10.3]	18	鉄骨ブレース設置後 の仕上げ	[8.22.8]			
		ボルトの繰繰距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-1 繰繰距離及びボルト間隔 ※構造図による	[8.13.2]		[8.18.2~8]	[8.2.47]		[8.22.8]	[7.10.3]	[7.10.3]		[7.10.3]	[7.10.3]		[7.10.3]	[7.10.3]		[7.10.3]	[7.10.3]
9	スタッド	種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所	[8.2.11]	17	アンカーボルト等の 設置等	[7.10.3]	8-6 連続補強シート	2	仕上げ	[8.2.47]	18	鉄骨ブレース設置後 の仕上げ	[8.22.8]						
		呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所	[8.2.11]		[7.10.3]	[7.10.3]		[7.10.3]	[7.10.3]	[7.10.3]		[7.10.3]	[7.10.3]		[7.10.3]	[7.10.3]	[7.10.3]	[7.10.3]	
10	製作精度	JIS B 1188 (誤付キスタッド)	[8.13.3]	18	鉄骨ブレース設置後 の仕上げ	[8.22.8]	8-6 連続補強シート	2	仕上げ	[8.2.47]	18	鉄骨ブレース設置後 の仕上げ	[8.22.8]						
		製作精度は、JASS 6 付別 6 (鉄骨精度検査基準)に加えて、次による 通しゲージアラムの完全せ継ぎの食い違いの寸法 ※建設省1464号第二号イ(2)による ・ 構造図による アンダーカットの寸法 ・ 附設建設省1464号第二号イ(3)による 構造図による 食い違いの口のずれの検査方法及び補修方法 「完全せ継ぎの食い違いの検査・補修マニュアル」による ・ 構造図による	[8.13.3]		[8.22.8]	[8.2.47]		[8.22.8]	[7.10.3]	[7.10.3]		[7.10.3]	[7.10.3]		[7.10.3]	[7.10.3]	[7.10.3]	[7.10.3]	

令和6年度 公共下水道事業(雨水)			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事(下北方雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 下北方一丁目		
図面番号	A-11	縮尺	-
図面名	建築改修工事特記仕様書(11)		
三原市			

三 原 市

下北方雨水ポンプ場

特 記 仕 様 書

(電気設備)

広島県三原市

目 次

第 1 章	総 則		
第 1 節	適用範囲	-----	1
第 2 節	責任施工	-----	1
第 3 節	施工基準	-----	1
第 4 節	関係法規、責務の遵守	-----	2
第 5 節	手続きの代行	-----	2
第 6 節	現場の管理	-----	2
第 7 節	検 査	-----	2
第 8 節	主任（監理）技術者の配置等	-----	2
第 9 節	工事カルテの作成および登録	-----	3
第10節	完成図書の提出	-----	3
第11節	かし担保期間	-----	3
第12節	契約内容の変更	-----	4
第13節	そ の 他	-----	4
第 2 章	下北方雨水排水ポンプ場		
第 1 節	耐水化対策	-----	5
第 2 節	移設設備	-----	5
第 3 章	電気工事		
第 1 節	一般事項	-----	6
第 2 節	各種工事	-----	6

第1章 総 則

第1節 適用範囲

本特記仕様書は、三原市雨水排水ポンプ場電気設備における耐水化改修に必要な工事に適用する。

第2節 責任施工

本工事は、受注者による責任施工である。

設計図書に記載なき事項についても技術上あるいは、全設備より見て当然必要と思われることは、職員（以下監督員という）の指示に従い、設計図書の意図する性能、機能を十分満足するよう設計、施工しなければならない。

第3節 施工基準

(1) 本工事に対する施工基準は、下記のものとする。

- a 特記仕様書
- b 設計図
- c 設計書
- d 現場説明事項

(2) 準拠規格

一般仕様書、特記仕様書において規定して記載されたもの以外は、すべて次の規格及び基準に準拠すること。また、この書基準は、最新版を適用すること。

- a 日本工業規格 J I S
- b 電気規格調査会標準規格 J E C
- c 日本電機工業会標準規格 J E M
- d 電線技術委員会標準資料 J C S
- e 電気設備技術基準 経済産業省令
- f 内線規程 J E A C
- g 電気用品取締法
- h 下水道施設計画・設計指針と解説
- I 電気設備工事一般仕様書 日本下水道事業団
- j 電気設備工事必携 日本下水道事業団
- k 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）
- l 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）
- m その他関係法規並びに監督員が指示する仕様書、各種基準

(3) 承諾図

受注者は、承諾を受けるために監督員と打合せを行い、施工図面等の工事に必要な図面を2部作成し提出すること。

- a 機器の据付配置図
- b 機器相互間の配管図、配線図
- c 施工図

一旦、承諾を受けても実際に施工上不都合があると認められる場合、あるいは設備上、機器の変更、追加等が必要と認められる場合には、監督員の指示に従って訂正図を提出し、再承諾を受けた後に機器等を製作すること。

また、承諾図返却後、決定図を監督員の指示する部数を提出すること。

(4) 疑義等

設計図書に関して疑義が生じた場合は、すべて監督員の解釈による。

設計図書に記載されていない事項であっても施工上当然必要と思われる事項は、受注者の負担においてこれを施工すること。

第4節 関係法規、責務の遵守

受注者は、本工事の施工に当り、諸官庁の命令指示、建設業法、労働基準法、労働安全衛生法、職業安定法、道路交通法、電気事業法その他関係法規、並びに工事施工に関する協定事項に違反しないこと。

第5節 手続きの代行

受注者は本工事施工に当り、諸官公庁及び当該電気供給者の検査を受ける必要があるものについては、すべての手続きを代行し、常に連絡を密にして、設備使用開始に際し支障のないようにすること。

ただし、手続書類は提出前に監督員の承諾を受けること。

第6節 現場の管理

受注者は、工事現場内において監理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用すること。

第7節 検査

三原市工事検査規程の定めるところによる。

第8節 主任(監理)技術者の配置等

(1) 主任(監理)技術者の専任期間等

本工事に配置される技術者については、工場製作のみが行われている期間は専任を要しない。

なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

(2) 主任（監理）技術者の変更の特例

本工事に配置される技術者については、工場から現地への工事の現場が移行する時点において変更ができる。

なお、発注者と受注者の協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、一定期間重複して工事現場に設置し、工事の継続性、品質等を確保すること。

第9節 工事カルテの作成および登録

受注者は、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に（財）日本建設情報総合センターに登録し、「工事カルテ」の写しを監督職員に提出すること。

第10節 完成図書の提出

施設引渡しの際、下記の完成図書を提出すること。

完成図書はA4版、取外し可能な折り込み製本とし表紙、背表紙は金文印刷したものを3部納入のこと。

- (1) 完成図面
- (2) 各種検討書，計算書
- (3) 各種結線，接続図
- (4) 付属品，予備品リスト
- (5) 各種試験，検査成績書
- (6) 各種官庁手続き書類
- (7) 取扱説明書
- (8) 完運転操作説明書
- (9) 故障時連絡一覧表
- (10) その他必要なもの

第11節 かし担保期間

完成検査に合格した日から2年間とする。

かし担保期間終了時、請負人は技術者を派遣し異常の有無を確認後、監督員と協議し承認を得ること。

保証期間内に請負人の責任に帰すべき原因による事故が発生した場合、監督員の指示する期間内に無償で改造、補修または新品と取替えた後、検査に合格しなければならない。

第12節 契約内容の変更

本工事の内容に著しい影響を与える事情が生じたときは、協議の上、契約内容を変更することができる。

ただし、監督員が特段の理由があると認めたときを除き、契約内容の変更は行わない。

第13節 その他

(1) 責任施工

受注者は既設構造物その他に損傷を与えないよう、または機能を阻害しないよう適切な保護を行うこと。これらに損傷または損失を与えた場合、受注者の負担において復旧すること。

本工事の施工にあたって本仕様書、添付図面、別紙設計書に明示していないものであっても、設備の性能発揮に当然必要なものは監督員の指示に従い、受注者の費用をもって施工しなければならない。また、重要寸法についてはあらかじめ現地実測の上決定し、万一数量寸法等に誤記があった場合は、監督員と打ち合わせ善処しなければならない。

(2) 耐震設計

耐震を十分考慮した構造および施工とすること。

(3) 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んである。

(4) 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合には、次のとおりとする。なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んである。

- a 原因調査 監督員と協力して行うこと。
- b 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当ること。
- c 応急措置 監督員から応急措置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急措置を講じること。
- d 補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち請負代金の100分の1を超える額を負担すること。

第2章 下北方雨水排水ポンプ場

第1節 耐水化対策

本工事は、場内に設置された汚水マンホールポンプ制御盤の下部が、河川の氾濫等などにより、約 20 cm 水没しマンホールポンプの運転に支障が生じる恐れがあるため、制御盤内のケーブル余長を活用し同一電柱で制御盤を嵩上げするものである。

第2節 移設設備

- (1) ポンプ制御盤 1 面
- (2) その他発注図面のとおり

第3章 電 気 工 事

第1節 一般事項

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任を持って施工しなければならない。また、作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じること。
- (2) 機器の搬入、据付の際は機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 工事の施工にあたっては、施工図を提出のうえ監督員の指示によること。また、実施に当たっては安全かつ効率的に行うこと。
- (4) 電力会社等への諸手続きは、受託者が自らの費用において行うこと。
- (5) 槽内作業の場合は、酸素欠乏及び硫化水素危険作業に該当するため、法令・規則等を遵守し安全に行うこと。

第2節 各種工事

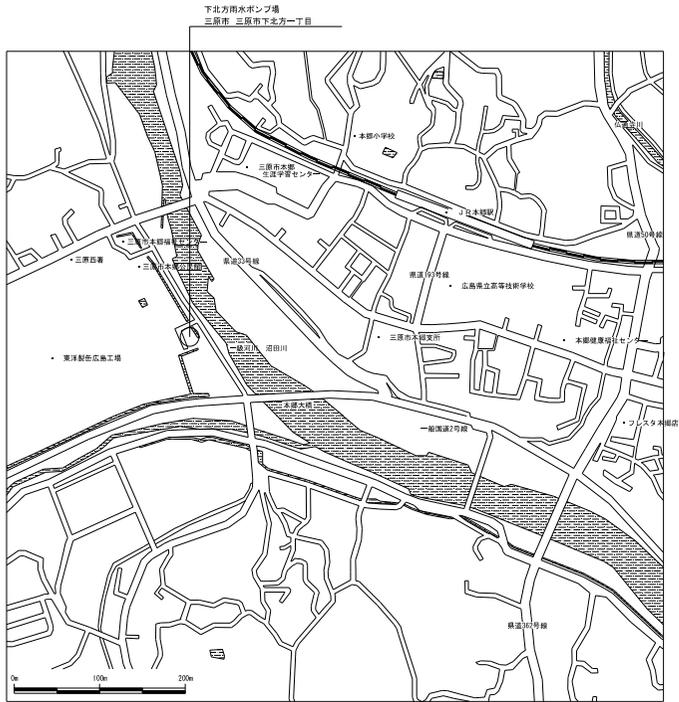
- (1) 盤等の据付工事
 - 1) 自立盤は、所要の強度を持つ金具で架台等に強固に取付けること。
 - 2) 装柱盤は、所定の金具で柱に強固に取付けること。
- (2) 電線管工事
 - 1) 電線管は施工場所により、次の管を使用すること。
 - a) 露出配管 耐衝撃性硬質ビニル電線管又は厚鋼電線管
 - b) 地中配管 波付硬質合成樹脂管
 - c) 接地線用 硬質ビニル電線管（露出、地中とも）
 - 2) 地中電線管部は、ケーブル埋設シートを敷設すること。
- (3) 配線工事
 - 1) 配線は使用目的により次の電線またはケーブルを使用すること。
 - a) 電源回路 架橋ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル (EM-CE)
 - b) 制御回路 制御用ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル (EM-CEE)
 - c) 接地回路 耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)
 - 2) 端子への接続
各端子への接続は圧着端子（丸型）で行うこと。
- (4) 接地工事
接地工事の接地極は、連結式接地棒を使用し各種接地抵抗値の基準値内になるように施工すること。

工事数量総括表(建築)

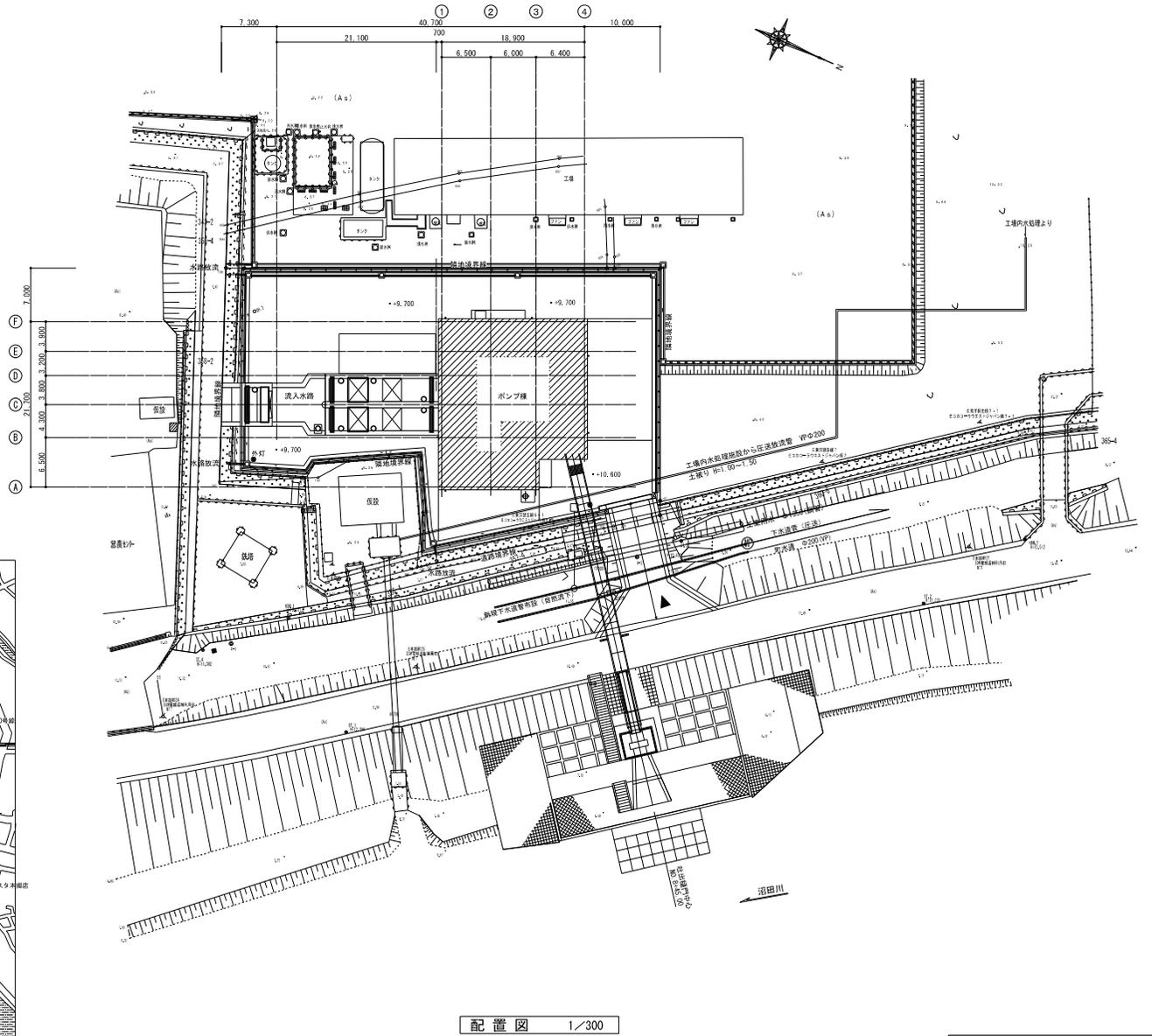
費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		下北方雨水ポンプ場耐水化改修工事						
		直接工事費		式	1.0			
		共通仮設費		式	1.0			
		小計(純工事費計)						
		現場管理費		式	1.0			
		小計(工事原価)		式	1.0			
		一般管理費等		式	1.0			
		計(工事価格)		式	1.0			
		消費税相当額	10%	式	1.0			
		総合計						

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
設備工		式		1	レベル1
電気設備工		式		1	レベル2
材料費		式		1	レベル3
直接材料費		式		1	レベル4
補助材料費		式		1	レベル4
労務費		式		1	レベル3
一般労務費		式		1	レベル4
技術労務費		式		1	レベル4
直接工事費					
共通仮設費率分					
共通仮設費					
純工事費					
現場管理費					
据付工事原価					
設計技術費					
工事原価					
一般管理費率分額					



位置図 1/3000



令和5年度 公共下水道事業 (雨水)		
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (下北方雨水ポンプ場)	
工事場所	三原市 下北方一丁目	
図面番号	A-12	縮尺 S=1/3000, 1/300
図面名	位置図・配置図	
三原市		

別棟仕上表		略号		外部付属物及び詳細番号		内部付属物及び詳細番号										
共通事項		略号		外部付属物及び詳細番号		内部付属物及び詳細番号										
1. 外部仕上表及び内、外部付属物の適用分類、詳細番号は、○印のついたものを用いる。	C	コンクリート内	複層塗材 (E)	合成樹脂エマルション系複層仕上塗材	○ 床土点検口	・ 5-2-1-1	・ くつ洗い流し	・ 6-1-1-1	・ 図 示	○ カーテンボックス	・ 鋼 製	・ 3-3-1-1・2				
2. 仕上表に記載の詳細番号のうち、(例) 1-0-2-3は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官庁官庁資料部)を示す。	CB	コンクリートブロック下地	複層塗材 (GE)	ポリマーセメント系複層仕上塗材	・ 屋上管類貫通部	・ 5-2-2-1	○ 電気用ハンドホール蓋	・ 図 示	・ 6-1-1-2	・ 図 示	・ プラインドボックス	・ アルミ製	・ 3-3-2-5・6・7			
3. 特記以外の木、鉄部の塗装はSOPとする。但し、和室廻りは除く。	W	木造下地	複層塗材 (RE)	反応硬化型合成樹脂エマルション系複層仕上塗材	・ クーリングタワー基礎	・ 5-2-2-2	・ 文字板	・ 図 示	・ 6-1-1-1	・ 図 示	○ 屋内掲示板	・ 鋼製品	・ 3-3-1-3			
4. 付属物のうち、玄関札、床点検口、掲示板、案内板、ピクトグラフ、階段表示板等は、平面図による。	S	軽鋼骨下地	複層塗材 (S1)	ウレタン樹脂系複層仕上塗材	・ テレビアンテナ基礎	・ 5-2-2-3	・ 消火板	・ 図 示	・ 6-1-1-3	・ 6-1-1-4	○ 手すり	○ アルミ	・ 図 示			
5. 特記以外の木、鉄部の塗装はSOPとする。但し、和室廻りは除く。	ALC	ALC板	CL	ウリアクテール塗料	・ 壁 上換気箱	・ 5-2-1-2	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-1-1-3	・ 6-1-1-4	○ アルミ	・ 図 示	○ 階段手すり	・ アルミ	・ 図 示	
6. P F 板、木毛板等打込み箇所は、別図による。	GB-R	せっこうボード	FE	フタル酸樹脂エマルション塗料	○ 煙 突	・ 図 示	・ 7-2-1	・ 図 示	・ 6-1-1-5	・ 図 示	・ 換気扇	・ 7-0-1-1	・ 図 示	・ 7-0-1-1	・ 図 示	
7. 内装の見え損りとなるP F 板打込み部分は、GB 厚 12、5 直張り (補目処理工法) とし、塗装は、その部屋の壁紙と同様とする。	GB-N(C)	不燃積層せっこうボード (化粧無し・下地張り用)	A E	アクリル樹脂エマルション塗料	○ と い	・ 5-3-1	・ 32、33	・ 図 示	・ 6-1-1-5	・ 図 示	○ 新熱材打込み	・ 6-4-6-1	・ 図 示	・ 6-4-6-1	・ 図 示	
8. 壁のボード張りは水平方向には原則として継ぎは設けない。	GB-N(C)(NT)	不燃積層せっこうボード (化粧有り：トラバーチン模倣)	DP (UE)	2液形ポリウレタンエマルション塗料	○ ルーフドレン	・ 5-3-2-1	・ 5-3-3-1	・ 図 示	・ 6-3-2-1	・ 図 示	○ 押入	・ 6-4-6-1	・ 図 示	・ 6-4-6-1	・ 図 示	
9. 天井ボード張りは水平方向には原則として継ぎは設けない。	GB-D	化粧せっこうボード	DP (FUE)	アクリルシリコン樹脂エマルション塗料	○ トップライト	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-3-2-1	・ 図 示	○ シェンダー	・ 図 示	・ 6-4-6-1	・ 図 示	・ 6-4-6-1	・ 図 示
10. 直接作業工事に伴う内装材のコンクリート下地には、防湿層としてポリエチレンフィルム厚0.15の敷込みを行う。ただし、床仕上げがビニル床タイル、ビニル床シート及び合成樹脂床塗、床用塗料の場合とする。	GB-B	シーリングせっこうボード	EP-G	高湿耐腐食型高樹脂エマルション塗料	・ EX P、J 金物	・ S-13	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-2	・ 図 示	○ 開口	・ 図 示	・ 6-4-6-1	・ 図 示	・ 6-4-6-1	・ 図 示
11. 打放仕上げの出隅部分は、直取りを行う。	GB-F	強化せっこうボード	EP	つや合成樹脂エマルションペイント塗料	○ 手すり	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-3	・ 図 示	○ マンホール蓋	・ 図 示	・ 6-4-6-1	・ 図 示	・ 6-4-6-1	・ 図 示
	DR	けい酸カルシウム床 (タイプ2)	EP-M	合成樹脂エマルションペイント塗料	・ 履 穿	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-3-1・2・3	・ 図 示	○ 窓名札	・ 8-4-3-1	・ 図 示	・ 8-4-4-1	・ 図 示	
	DR (凹凸)	ロックウール化粧吸音板 凹凸模倣	EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗料	○ くつむきマット	・ 8-2-1-1・2・3	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-3-1・2・3	・ 図 示	○ ビクトグラム	・ 8-4-4-1	・ 図 示	・ 8-4-4-1	・ 図 示	
	DR (野天)	ロックウール化粧吸音板 野天井用：トラバーチン模倣	UC	フレタラ樹脂ウニス塗料	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-4-1・2・3・4	・ 図 示	○ 居室内部板	・ 8-4-2-1	・ 図 示	・ 8-4-2-1	・ 図 示	
	DR (野天凹凸)	ロックウール化粧吸音板 野天井用 凹凸模倣	OS	オイルステイン塗料	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-6-1・2・3・4	・ 図 示	○ 各居室内部板	・ 8-4-2-1	・ 図 示	・ 8-4-2-1	・ 図 示	
	P F 板	押出法ポリスチレンフォーム保温材	SOP	合成樹脂顔料ペイント塗料	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-8-1・2・3・4・5	・ 図 示	○ 下足箱	・ 8-4-2-1	・ 図 示	・ 8-4-2-1	・ 図 示	
	木毛板	木質系セメント板	GP	グラファイトペイント塗料	○ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-8-1・2・3・4・5	・ 図 示	○ 窓名札	・ 8-4-3-1	・ 図 示	・ 8-4-4-1	・ 図 示	
	T B	テラゾブロック	AC	アクリル樹脂ウニス塗料 (アクリル樹脂ウニス塗料)	○ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-8-1・2・3・4・5	・ 図 示	○ ビクトグラム	・ 8-4-4-1	・ 図 示	・ 8-4-4-1	・ 図 示	
	外装塗塗材 (E)	外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗料	N A D	アクリル樹脂系系分散粉体塗料塗料	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-8-1・2・3・4・5	・ 図 示	○ 居室内部板	・ 8-4-2-1	・ 図 示	・ 8-4-2-1	・ 図 示	
	内装塗塗材 (S1)	内装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗料	L E	ラッカーエマルション塗料	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-8-1・2・3・4・5	・ 図 示	○ 居室内部板	・ 8-4-2-1	・ 図 示	・ 8-4-2-1	・ 図 示	
	C (B)	コンクリート下地 (打放シ)	WP	木質保護塗料塗料	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-8-1・2・3・4・5	・ 図 示	○ 窓名札	・ 8-4-3-1	・ 図 示	・ 8-4-4-1	・ 図 示	
	C (C)	コンクリート下地 (打放シ)	T P	ポリプロピレン防錆電圧タラップ W=400	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-8-1・2・3・4・5	・ 図 示	○ ビクトグラム	・ 8-4-4-1	・ 図 示	・ 8-4-4-1	・ 図 示	
	M	モルタル	T S	ステンレスタラップ W=400	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 図 示	・ 6-2-8-1・2・3・4・5	・ 図 示	○ 居室内部板	・ 8-4-2-1	・ 図 示	・ 8-4-2-1	・ 図 示	
	軽鋼骨	軽鋼骨仕上塗料														

外部仕上表 (上段一改修前 下段一改修後)		床		巾木・腰		外 壁		屋 根		押え・仕上		パラベット		搬入バルコニー		手摺壁		備 考			
		下地		仕上		詳細番号		下地		仕上		詳細番号		下地		仕上		詳細番号		備 考	
改修前	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
改修後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		庇		上 端		上 裏		ハンドホール床													
改修前	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
改修後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年度 公共下水道事業 (雨水)									
工 事 名 雨水排水ポンプ場圃水化工事 (下北方雨水ポンプ場)									
工 事 場 所 三原市 下北方一丁目									
図 面 番 号 A-13 縮 尺 S=1/100									
図 面 名 仕上表 (1)									
三 原 市									

改修仕上後の材料の厚さ	材 料 名	種 別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備 考	材 料 名	種 別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備 考	工 事 区 分 略 号	< > (C)		改修前		改修後		
												< > (AM)	< > (AE)	A: 仕上撤去	B: 図示の仕上撤去	C: 図示の仕上新設	D: 図示の仕上新設	E: 図示の仕上新設
GB-R	上地		1.2	5	12	5	NM-8 6 1 9						< > (AM)	< > (AM)	< > (AM)	< > (AM)	a: 仕上新設	b: 図示の仕上新設
GB-N(C)(N)	下地		1.2	5									< > (AE)	< > (AE)	< > (AE)	< > (AE)	c: 下地撤去	d: 図示の下地撤去
GB-N(C)(NT)	下地		9	5									< > (PM)	< > (PM)	< > (PM)	< > (PM)	e: 図示の床撤去	f: 図示の床撤去
GB-D (W)	下地		1.2	5									< > (PE)	< > (PE)	< > (PE)	< > (PE)	g: 図示の床撤去	h: 図示の床撤去
DR	下地		1.2	5									< > (PE)	< > (PE)	< > (PE)	< > (PE)	i: 図示の床撤去	j: 図示の床撤去

内部仕上表 (上段-改修前 下段-改修後)

階	室名	床				欄干				壁				天井				備考	改修内容													
		下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	柱型仕上	詳細番号			改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	梁型仕上	天井高	改修内容					
1F	ポンプ室	改修前	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	1-01-8	B				C	モルタル幅木	1000	2-02-6	B				C	ｸﾞﾗｽﾞｰﾙ吸音材貼り125	2-06-11	F	ｸﾞﾗｽﾞｰﾙ吸音材貼り125	2-06-11						ｸﾞﾗｽﾞｰﾙ、FRP製製品 床し込み取手金物、ｸﾞﾗｽﾞｰﾙ製 マシンハッチ、FRP製製品	C F C		
		改修後	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	1-01-8	b				C	モルタル幅木	1000	2-02-6	b															ｸﾞﾗｽﾞｰﾙ、耐水型 練鉄製製品 床し込み取手金物、ｸﾞﾗｽﾞｰﾙ製 マシンハッチ、耐水型 製製品	c f c		
	自家発電機室	改修前	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均の上床用塗料塗	1-01-8	F	C	G(B)	300	2-02-6	F							C	ｸﾞﾗｽﾞｰﾙ吸音材貼り125	2-06-11	F	ｸﾞﾗｽﾞｰﾙ吸音材貼り125	2-06-11	C	ｸﾞﾗｽﾞｰﾙ吸音材貼り125	3-01-13	F	ｸﾞﾗｽﾞｰﾙ吸音材貼り125	2-06-11	F		F
		改修後																														
	便所	改修前	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均の上床用塗料塗	1-01-8	F	C	G(B)+床用塗料塗	150	2-11-4	F							C	G(B)+EP-0塗	2-02-6	F			LS	ｸﾞﾗｽﾞｰﾙ6目透しの上EP-0塗	3-11-4	F		2.400		天井点検口：781製 450口 扉板：781製製品	F F
		改修後																														
	通用口	改修前	M	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均の上床用塗料塗(防塵)	1-01-3	F												C	G(B)+EP-0塗	2-02-6	F	G(B)+EP-0塗		F	LS	68-80(N/D) t9.5	3-11-4	F		2.500	ﾌﾗﾝｼﾞ：G98の上1419塗+EP-0塗 甲板：T B 床下点検口：781製 600口	F F F
		改修後																														
	階段室	改修前	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均の上床用塗料塗	1-01-3	F												C	G(B)	2-02-6	F	G(B)		F	C	G(C)	3-01-12	G(B)	直天		床下点検口：781製 600口 扉板/2177：781製 扉板、取手、781製+30の上床用塗料	F F F
		改修後																														
	吐出槽	改修前																C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	2-02-6	F			C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	3-01-12	F	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	直天		中間ﾌﾗﾝｼﾞ：781(手置り)固定式 扉板金物：417 781製	F F
		改修後																														

令和5年度 公共下水道事業 (雨水)

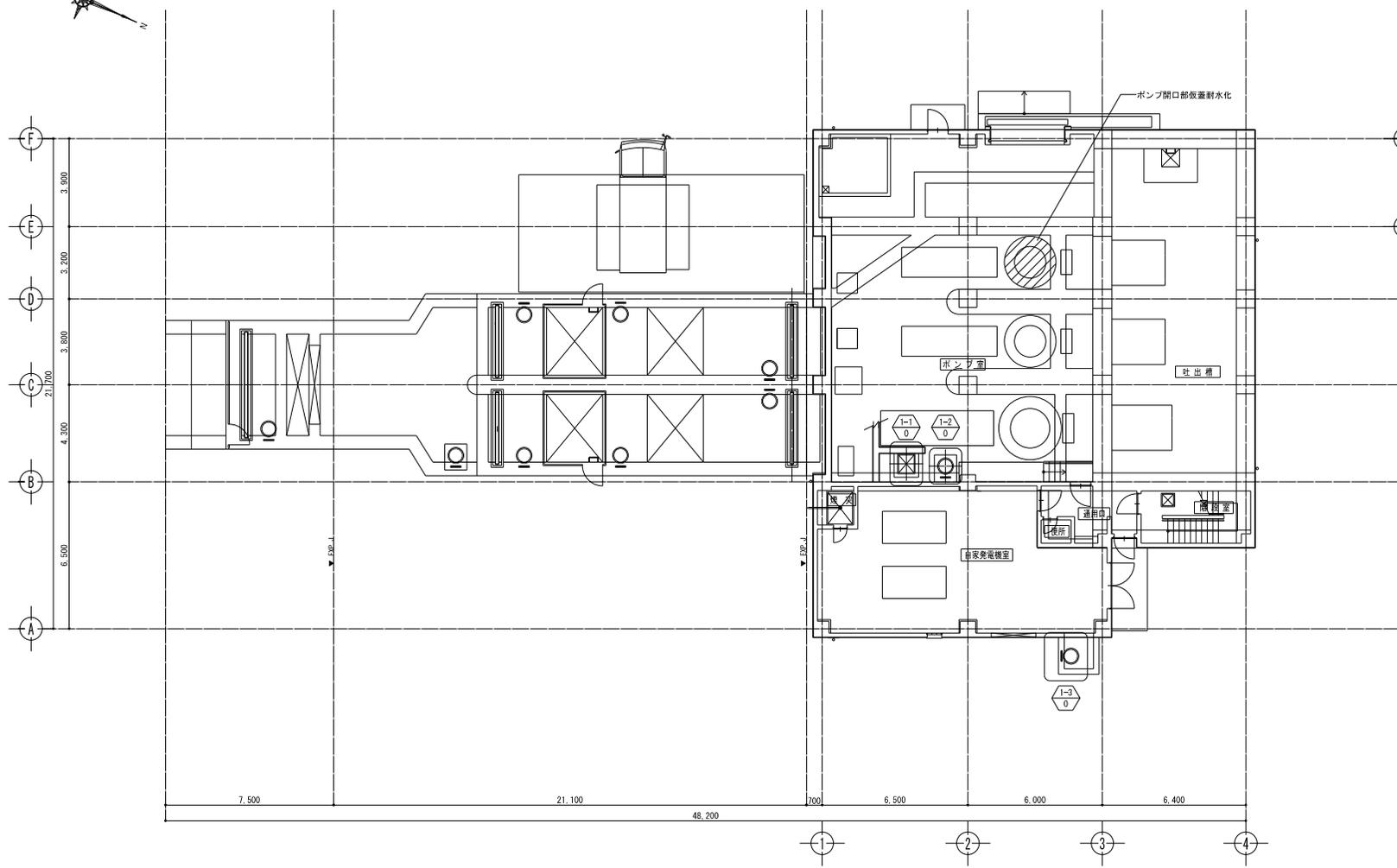
工事名 雨水排水ポンプ場耐水工事 (下北方雨水ポンプ場)

工事場所 三原市 下北方一丁目

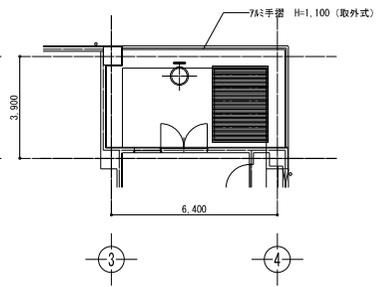
図面番号 A-14 縮尺 S=1/100

図面名 仕上表(2)

三原市



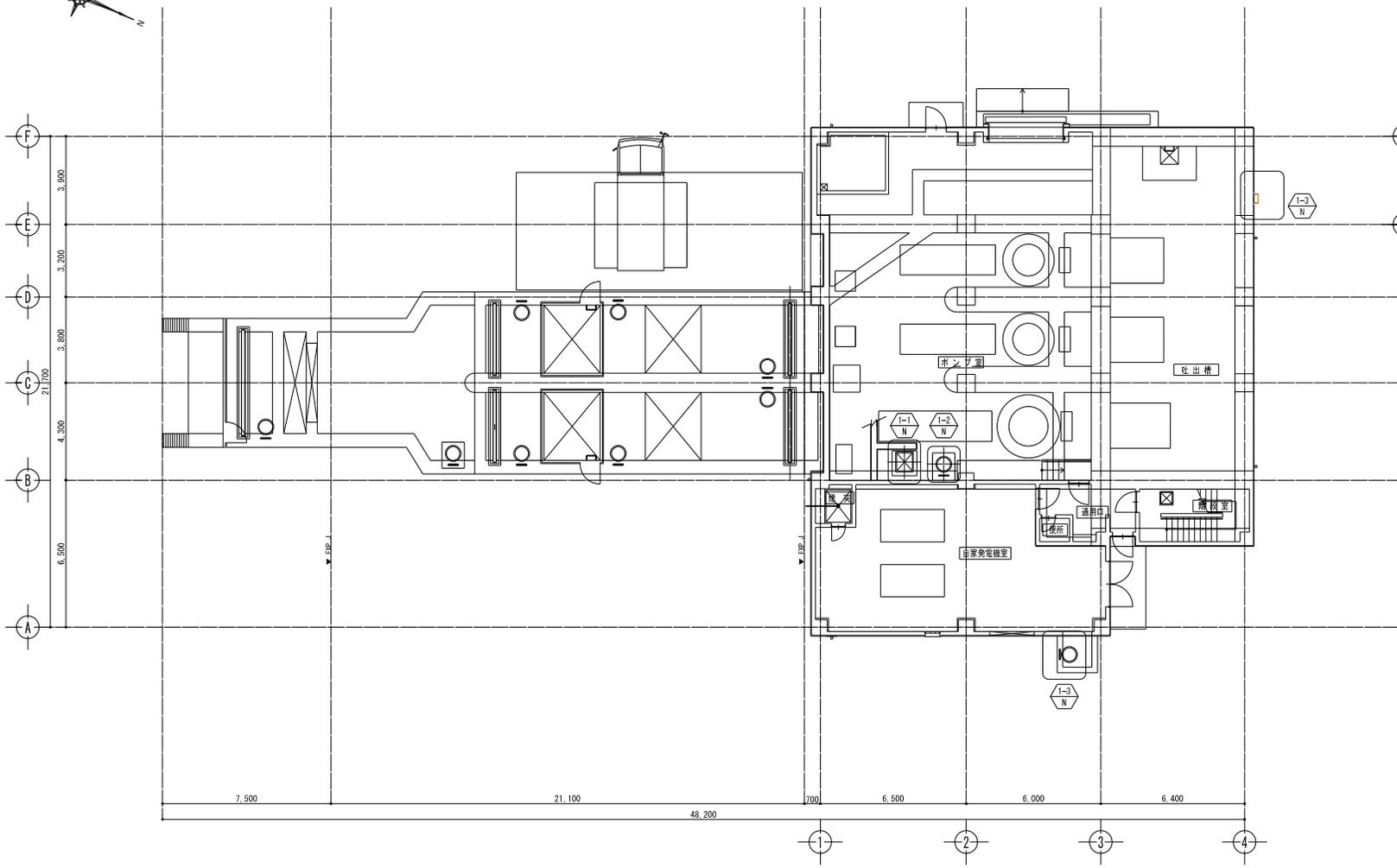
1階平面図 S=1:100



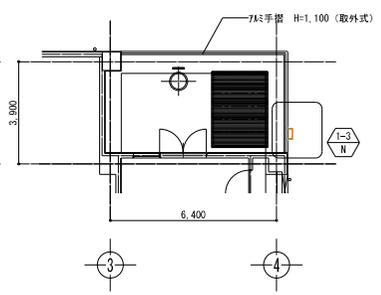
2階平面図 S=1:100

凡 例
 改修前詳細番号を示す
 改修箇所を示す

令和5年度 公共下水道事業 (雨水)			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (下北方雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 下北方一丁目		
図面番号	A-15	縮尺	S=1/100
図面名	平面図(1) (改修前)		
三 原 市			



1階平面図 S=1:100



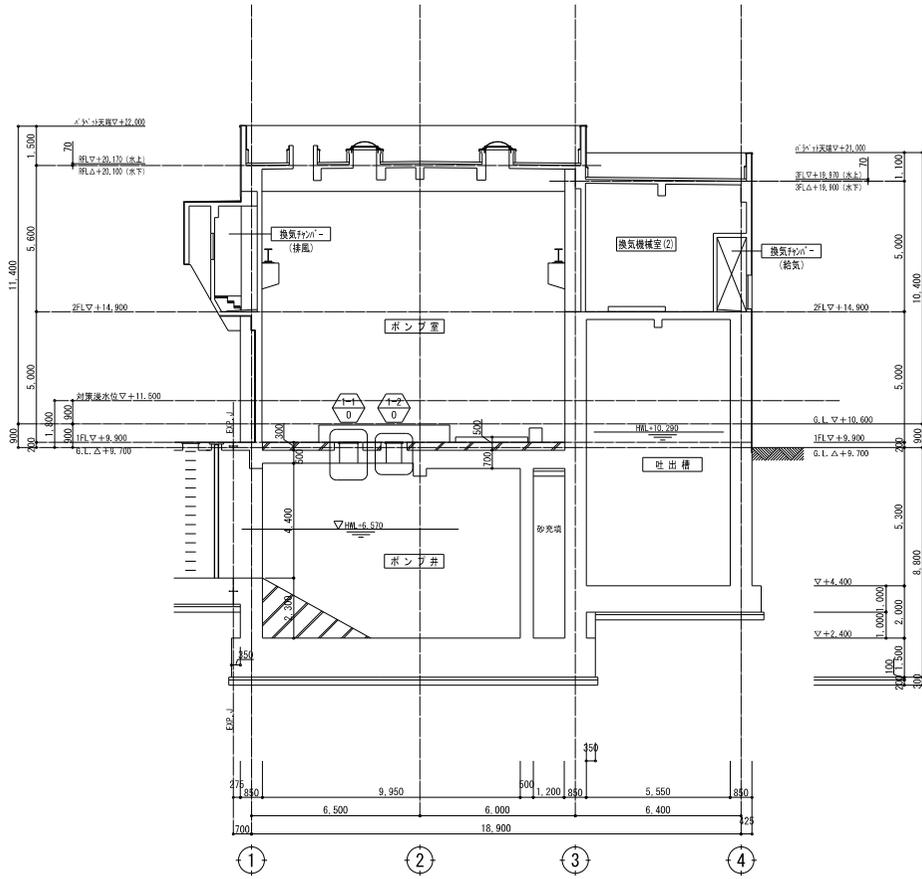
2階平面図 S=1:100

凡 例

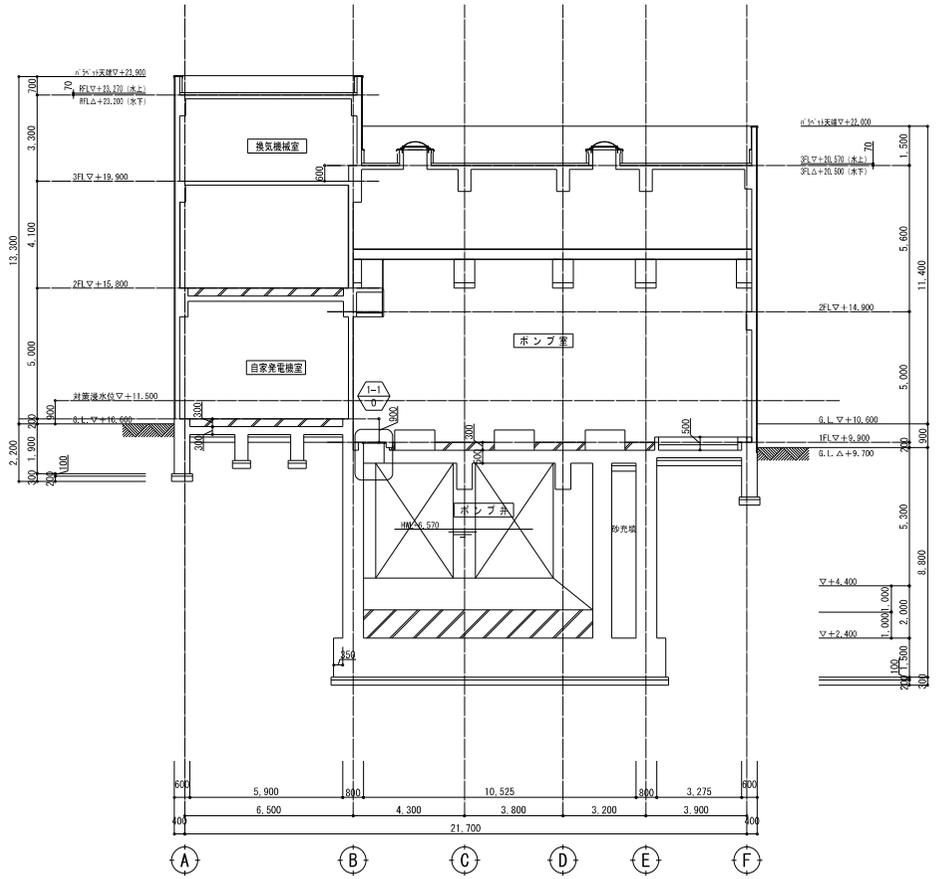


改修後詳細番号を示す
改修箇所を示す

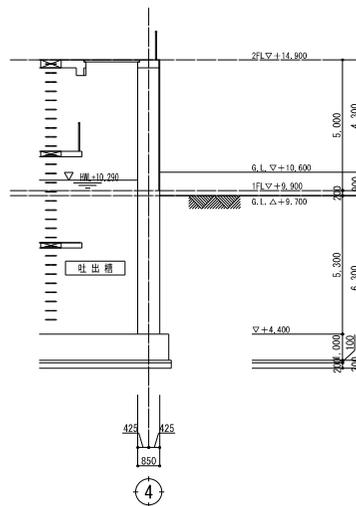
令和5年度 公共下水道事業 (雨水)			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (下北方雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 下北方一丁目		
図面番号	A-16	縮尺	S=1/100
図面名	平面図(1) (改修後)		
三 原 市			



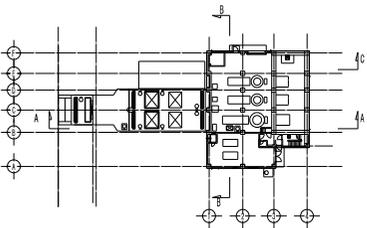
A-A断面図 S=1:100



B-B断面図 S=1:100



C-C断面図 S=1:100



断面図キープラン

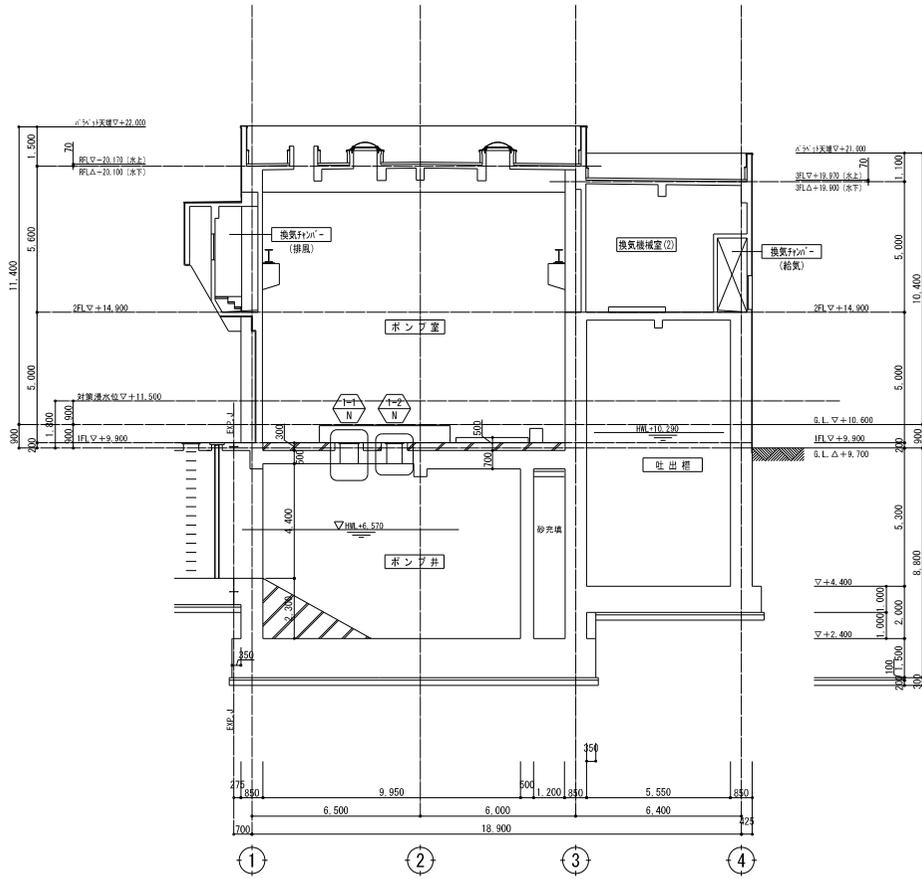
凡例



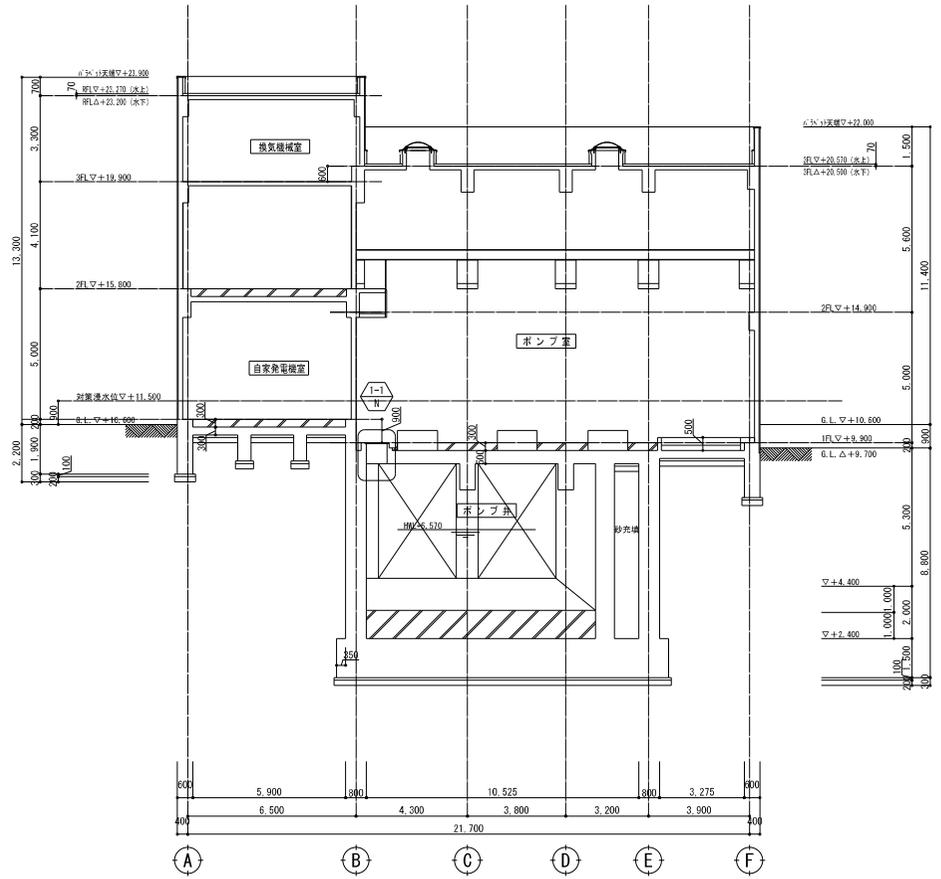
改修前詳細番号を示す

改修箇所を示す

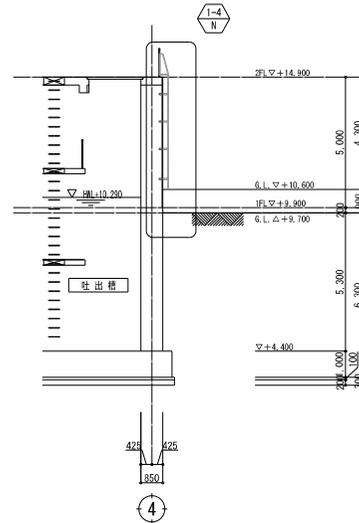
令和5年度 公共下水道事業 (雨水)			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (下北方雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 下北方一丁目		
図面番号	A-17	縮尺	S=1/100
図面名	断面図 (改修前)		
三原市			



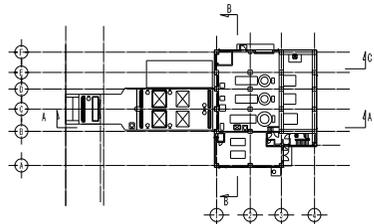
A-A断面図 S=1:100



B-B断面図 S=1:100



C-C断面図 S=1:100



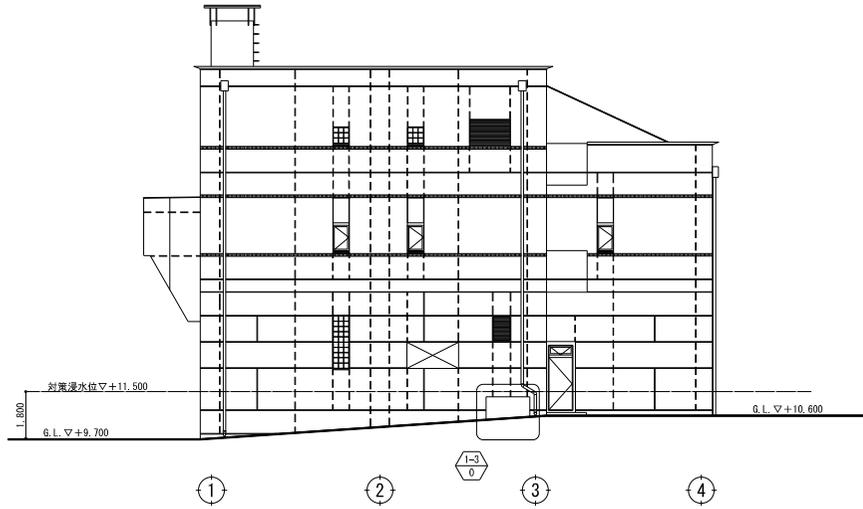
断面図キープラン

凡例

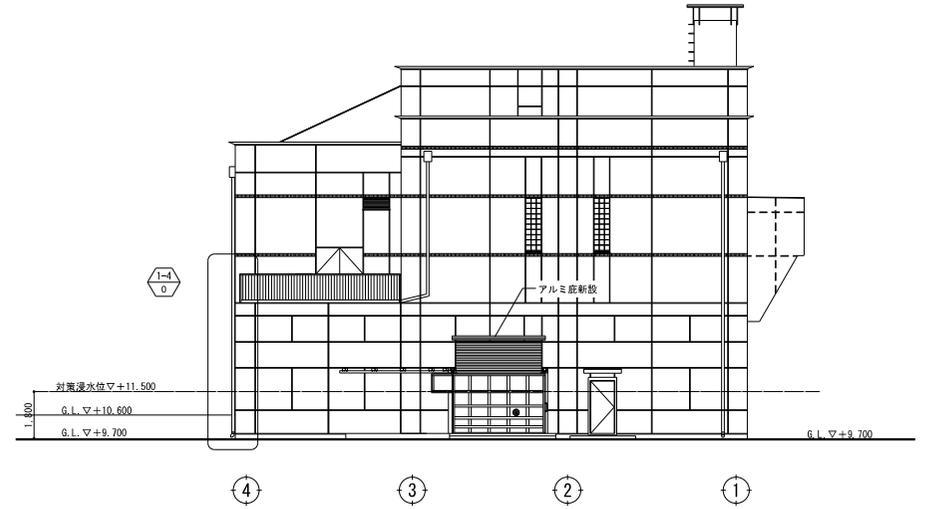


改修後詳細番号を示す
改修箇所を示す

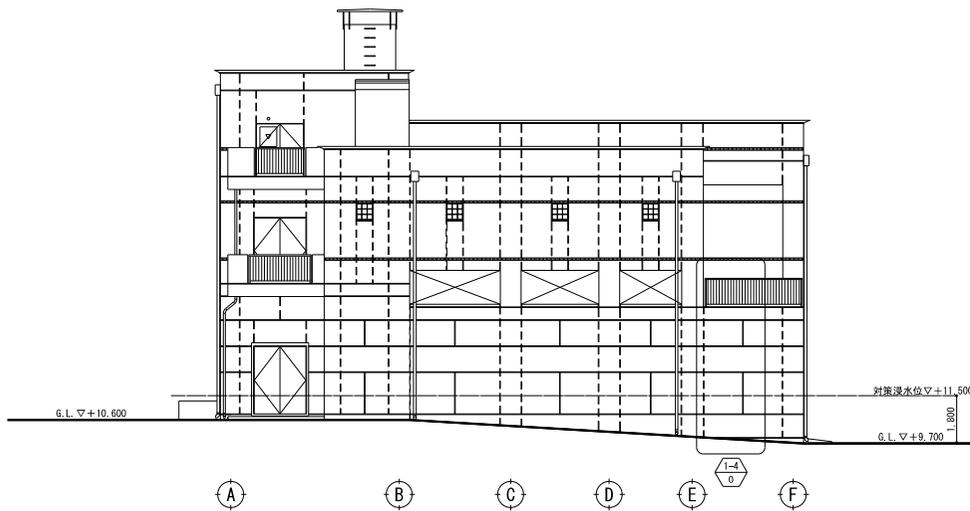
令和5年度 公共下水道事業 (雨水)			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (下北方雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 下北方一丁目		
図面番号	A-18	縮尺	S=1/100
図面名	断面図 (改修後)		
三原市			



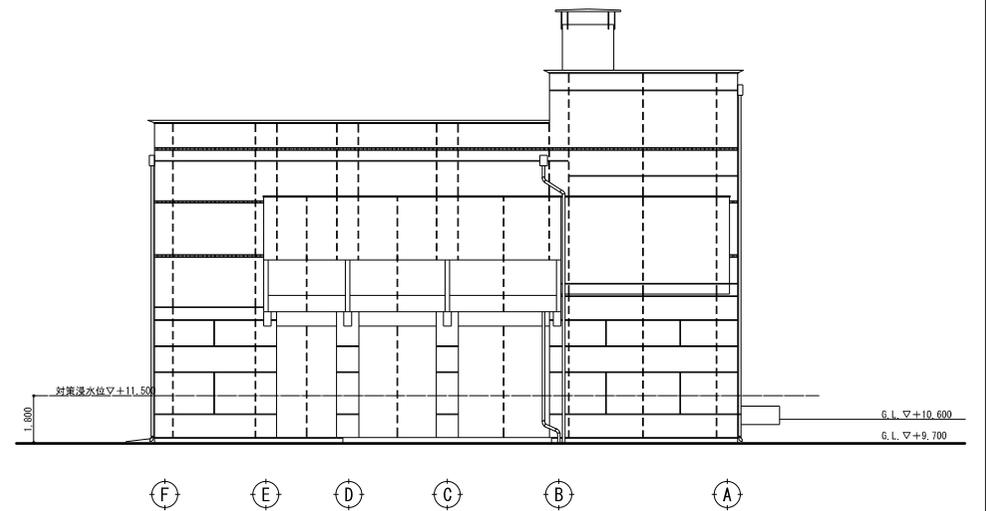
東側立面図 S=1:100



西側立面図 S=1:100



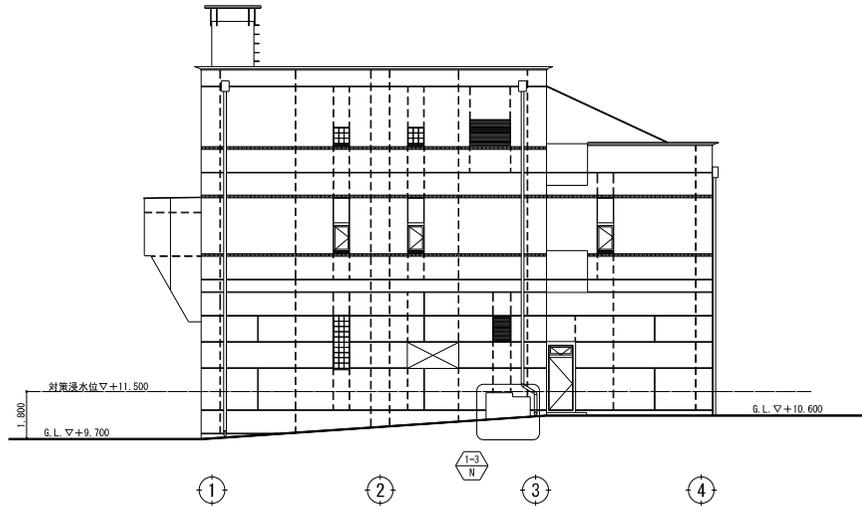
北側立面図 S=1:100



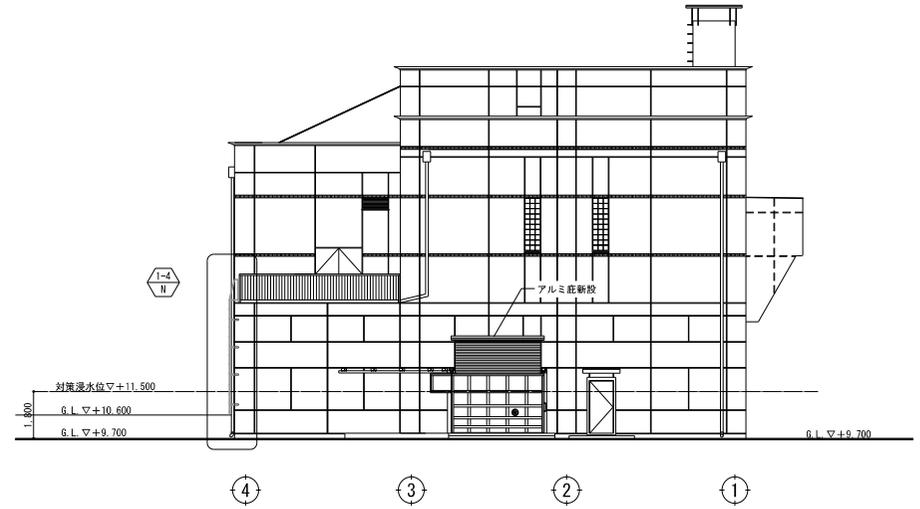
南側立面図 S=1:100

凡 例
 改修前詳細番号を示す
 改修箇所を示す

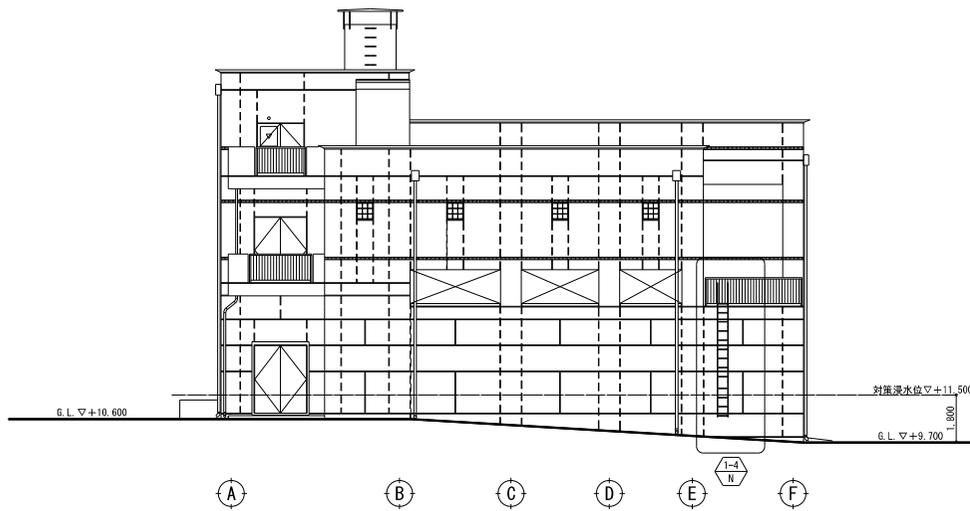
令和5年度 公共下水道事業（雨水）		
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（下北方雨水ポンプ場）	
工事場所	三原市 下北方一丁目	
図面番号	A-19	縮尺 S=1/100
図面名	立面図（改修前）	
三 原 市		



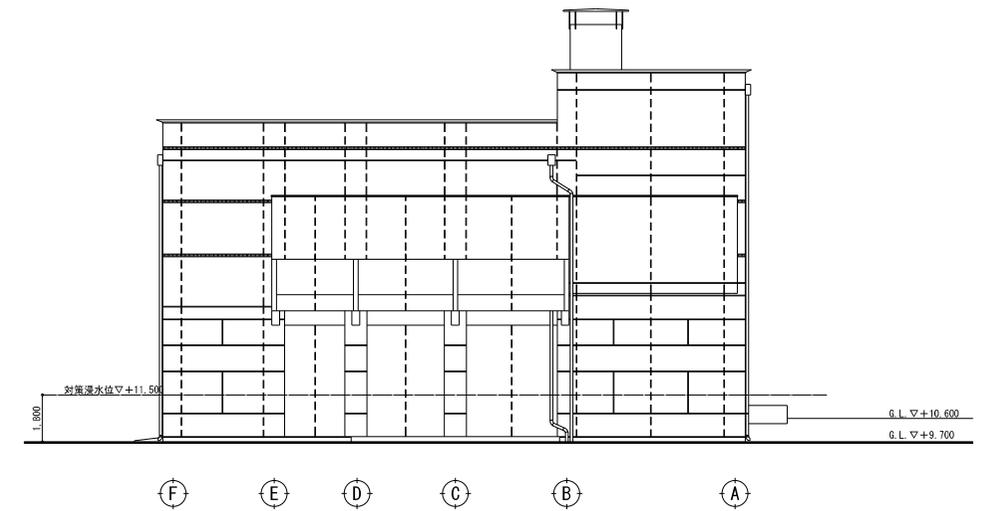
東側立面図 S=1:100



西側立面図 S=1:100



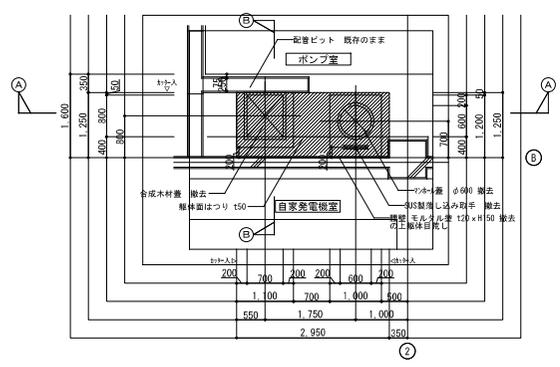
北側立面図 S=1:100



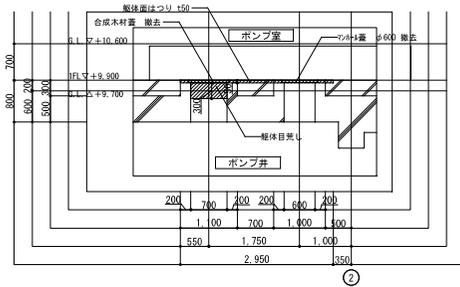
南側立面図 S=1:100

凡例
 改修後詳細番号を示す
 改修箇所を示す

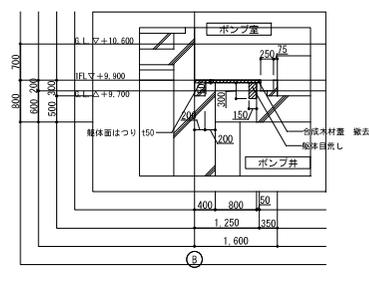
令和5年度 公共下水道事業（雨水）			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（下北方雨水ポンプ場）		
工事場所	三原市 下北方一丁目		
図面番号	A-20	縮尺	S=1/100
図面名	立面図（改修後）		
三原市			



平面詳細図 S=1/50



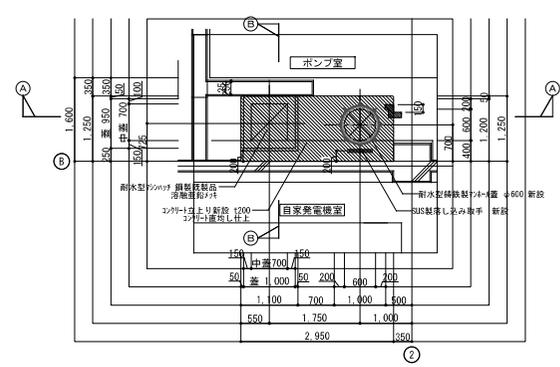
A-A断面詳細図 S=1/50



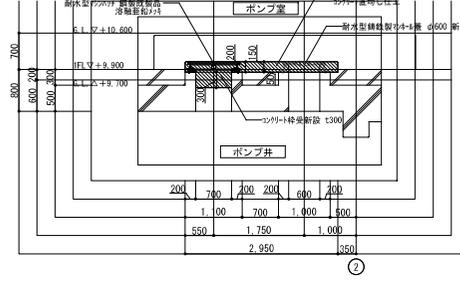
B-B断面詳細図 S=1/50

断面詳細図 S=1/50

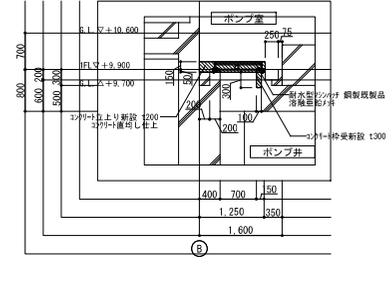
凡例
 撤去範囲を示す



平面詳細図 S=1/50

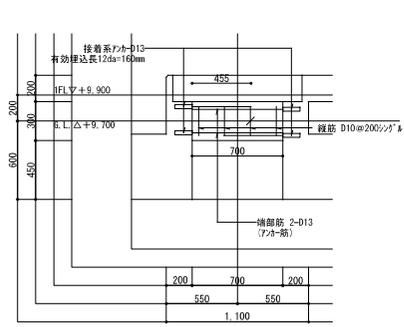


A-A断面詳細図 S=1/50

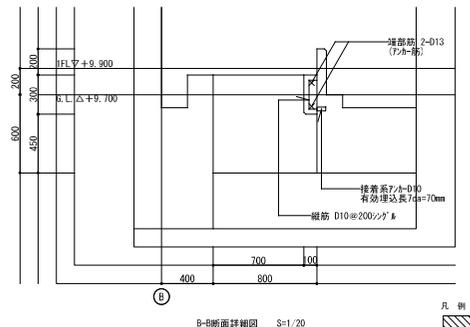


B-B断面詳細図 S=1/50

断面詳細図 S=1/50



正面図 S=1/20



B-B断面詳細図 S=1/20

凡例
 改修範囲を示す

給受配筋図 S=1/50

コンクリート Fc21
 スラップ 16mm
 鉄筋 D16@200x200
 D16&L.S0345

立上り主筋・配筋筋 D13@200シングル
 あご筋エアンカー 金屋製鋼アンカー R-M12
 金屋製鋼アンカー R-M16

令和5年度 公共下水道事業(雨水)			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事(下北方雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 下北方一丁目		
図面番号	A-21	縮尺	S=1/50, 1/20
図面名	改修詳細図(1)		
三原市			

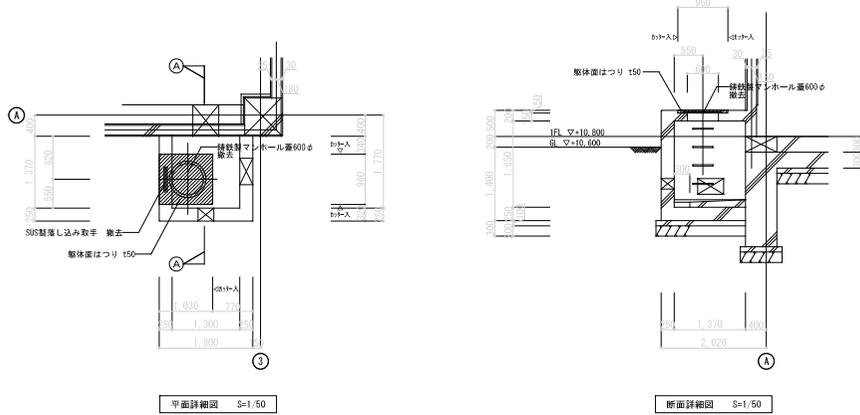
改修前

改修後

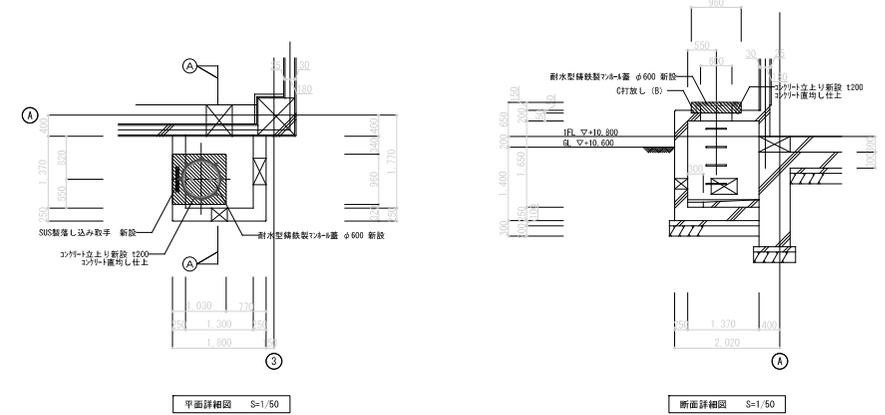
共通事項
 ・打撃面となる範囲の既存構造コンクリート面については、目視しを行うこと
 ・撤去部周囲は、コンクリート面にカッター入れを行う
 ・納まり・大きさ等は現場にて着工後再度計測を行い、現場監督員と協議の上決定すること

・新設する壁等は防水モルタルを充填すること。

1-3
D 外部 電気用ハンドホール防水化改修



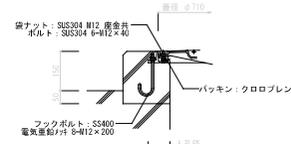
1-3
N 外部 電気用ハンドホール防水化改修



凡 例
撤去範囲を示す

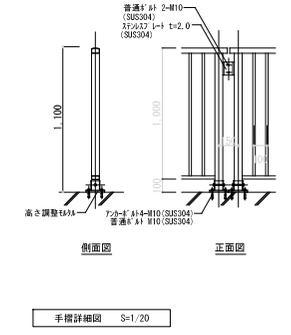
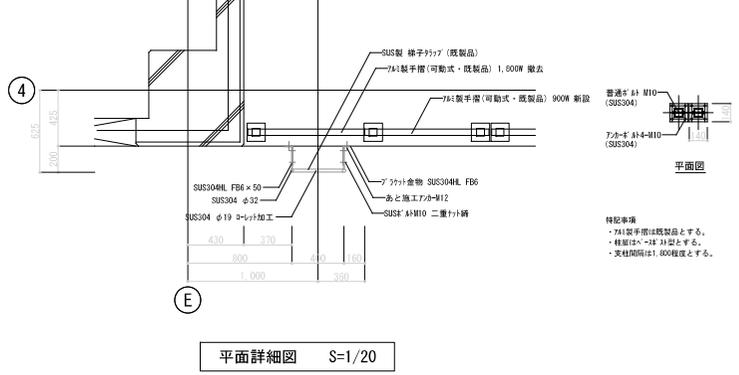
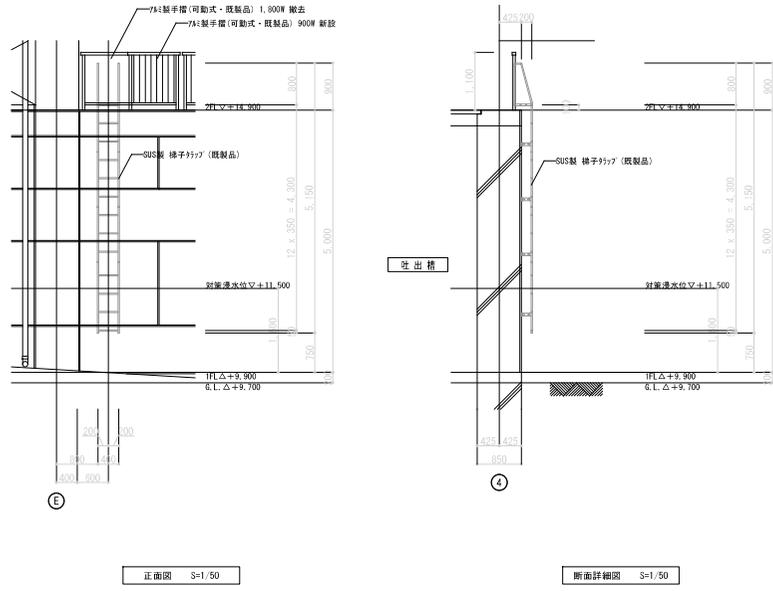
コンクリート F21
スラブ 18cm
鉄 筋 D16以下SD345
D16以上SD345

立上り主筋：配力筋；D13@200シングル
あと施工アンカー：金鋼鉄棒アンカー φ-M12



ノット付廻り詳細図 (参考用) S=1/10
※納まり、形状等はメーカー仕様による。

1-4
N 外部 タラップ新設



手摺詳細図 S=1/20

改修前

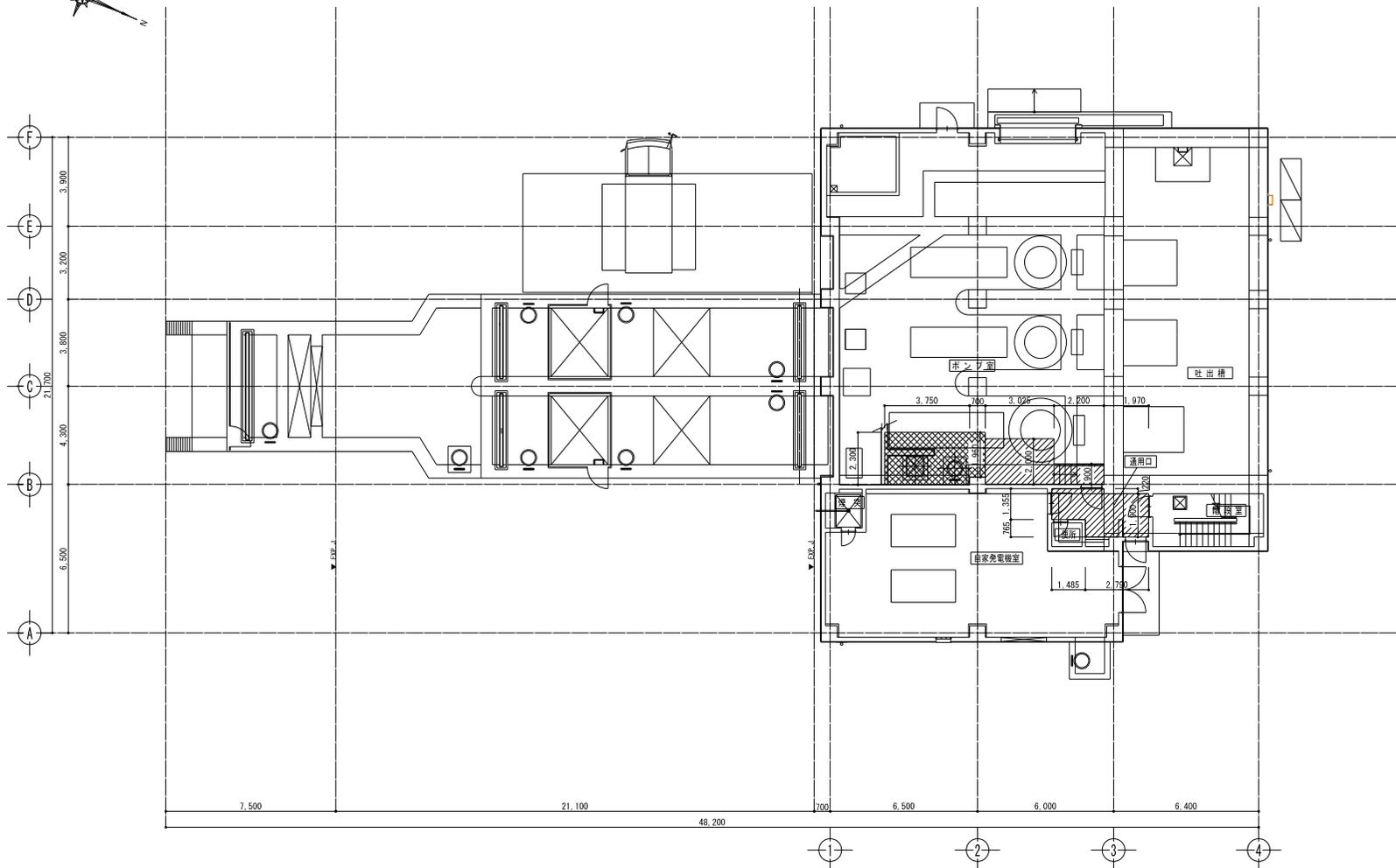
改修後

改修後

共通事項
・打設面となる範囲の既存構造体コンクリート面については、目荒しを行うこと
・撤去範囲は、コンクリート面にカッター入れを行う
・納まり・大きさは現場にて着工後再度計測を行い、現場監督員と検討・協議の上決定すること

・新設する箇所は防水モルタルを充填すること。

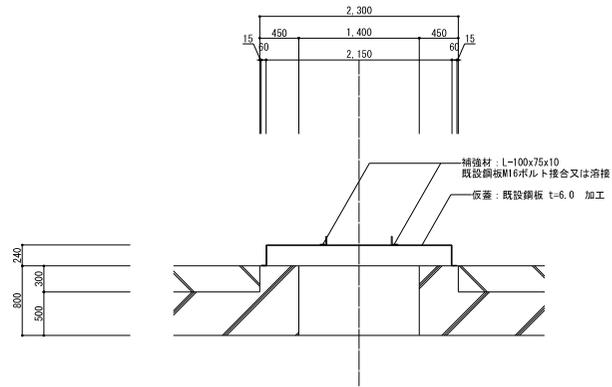
令和5年度 公共下水道事業 (雨水)			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (下北方雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 下北方一丁目		
図面番号	A-22	縮尺	S=1/50, 1/20
図面名:	改修詳細図(2)		
三 原 市			



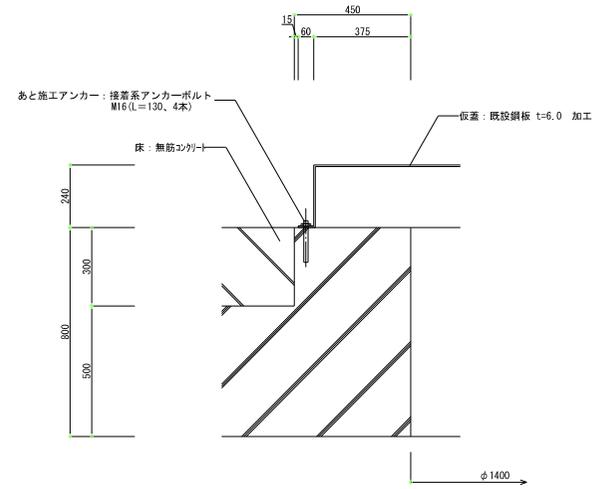
1階平面図 S=1:100

- 凡例
-  外部足場を示す
 -  養生範囲を示す
 -  通路養生範囲を示す

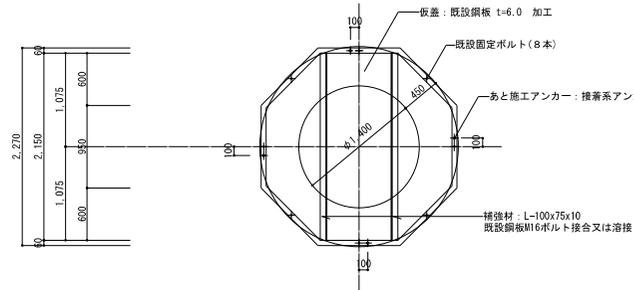
令和5年度 公共下水道事業（雨水）			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（下北方雨水ポンプ場）		
工事場所	三原市 下北方一丁目		
図面番号	A-23	縮尺	S=1/100
図面名： 仮設計図面（参考図）			
三原市			



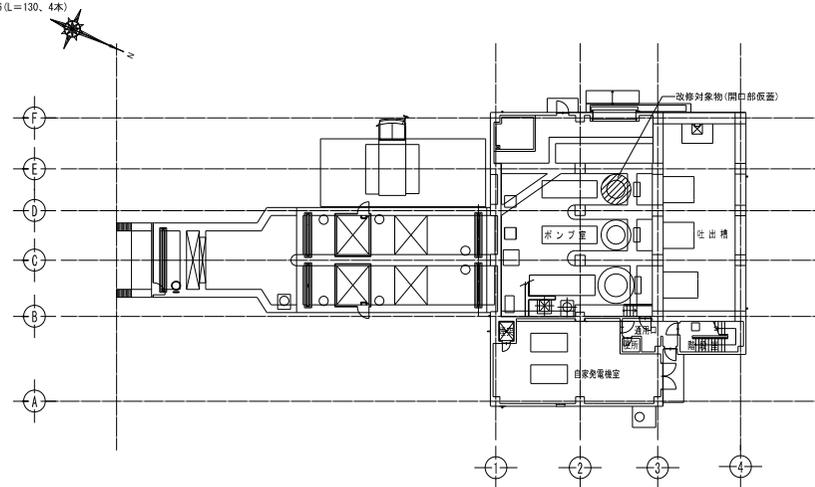
断面詳細図 S=1/30



端部詳細図 S=1/10

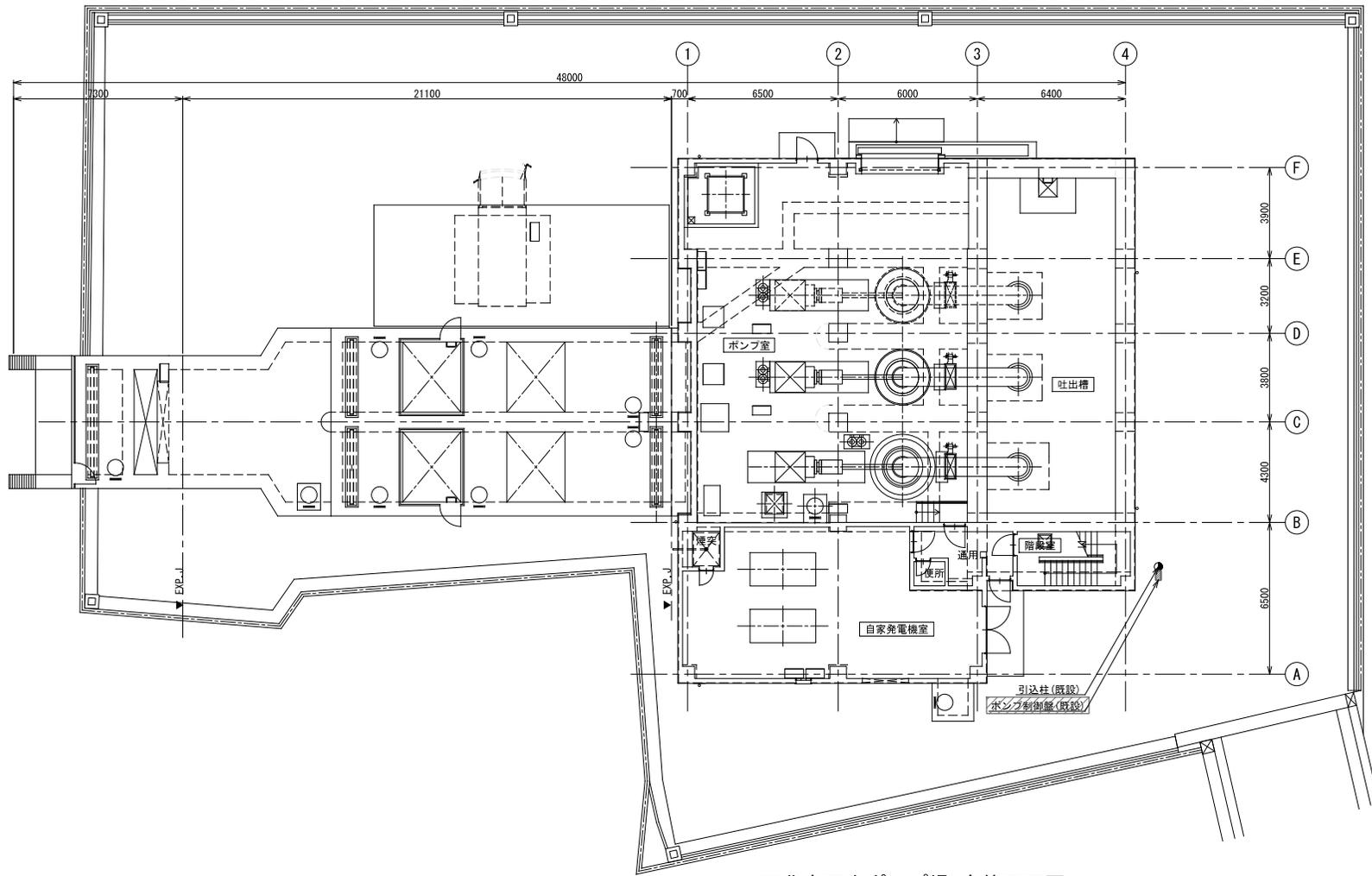


平面詳細図 S=1/30

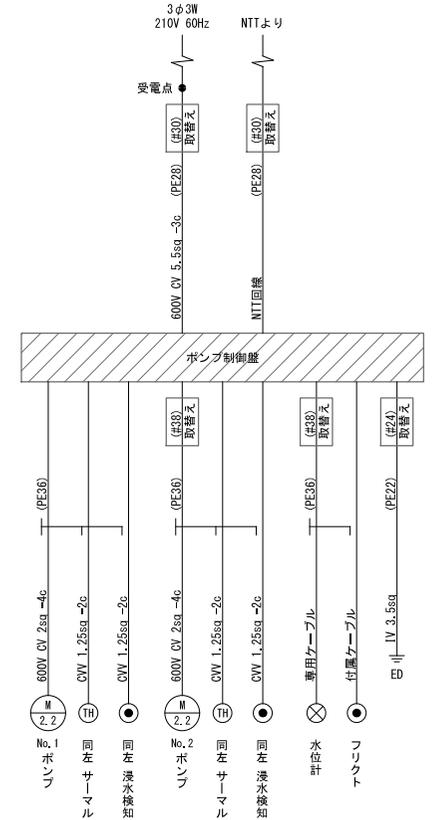


キープラン1階 S=1/200

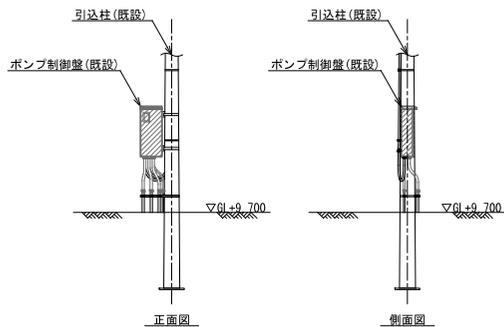
令和5年度 公共下水道事業 (雨水)		
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (下北方雨水ポンプ場)	
工事場所	三原市 下北方一丁目	
図面番号	A-24	縮尺 S=1/30, 1/10
図面名	ポンプ開口部仮蓋詳細図	
三原市		



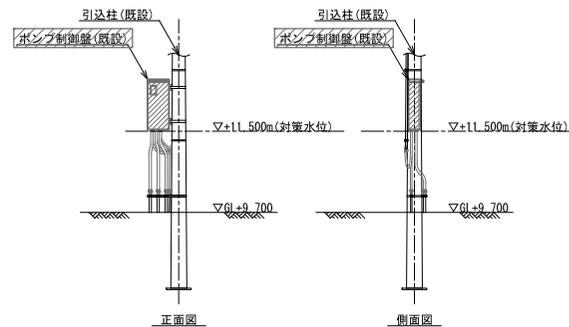
下北方雨水ポンプ場 全体平面図 S=1/100



配線系統図 S=NON



引込柱要領図(現状) S=1/50



引込柱要領図(対策後) S=1/50

備考

1. は、今回を示す。
2. は、移設を示す。
3. は、既設を示す。

令和5年度 公共下水道事業(雨水)			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (下北方雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 下北方一丁目		
図面番号	縮尺	S=1/100	
図面名: 全体平面図(今回)			
三原市			

－ 参 考 資 料 －

令和 5 年度

雨水排水ポンプ場耐水化工事(下北方雨水ポンプ場)

本工事費内訳書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
下北方雨水ポンプ場耐水化改修工事								
建築工事								
1	直接仮設			式	1.0			
2	外壁改修			式	1.0			
3	内部改修			式	1.0			
4	躯体改修			式	1.0			
5	運搬・処分費			式	1.0			
建築設備工事								
6	屋外排水設備			式	1.0			
		直接工事費 計						

第1号

直接仮設

内訳明細書

名称	形状寸法	単位	数量	単価	金額	平均価格(円)
養生		m2	10.0			
整理清掃・後片付け		m2	10.0			
通路養生		m2	15.6			
外部足場	枠組足場900枠 手摺先行方式	m2	22.0			
垂直養生	防音シート張	m2	22.0			
仮設材運搬費		式	1.0			
項目計						

第 2 号 外壁改修

内訳明細書

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
(撤去)						
鋳鉄製マンホールφ600 撤去	枠共	ヶ所	1.0			
SUS製落とし込み取手 撤去		ヶ所	1.0			
アル製手摺(可動式) 撤去	H=1100	m	1.8			
(新設)						
コンクリート直均し仕上		m ²	0.7			
耐水型鋳鉄製マンホールφ600 新設		ヶ所	1.0			
SUS製落とし込み取手 新設	既製品 W400	ヶ所	1.0			
アル製手摺(可動式) 新設	H=1100	m	0.9			
SUS製梯子タラップ 新設	既製品 W400	m	5.2			
項 目 計						

第3号 内部改修

内訳明細書

名称	形状寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
(撤去)						
腰壁モルタル 撤去		m2	3.0			
鋳鉄製マンホールφ600 撤去	枠共	ヶ所	1.0			
合成木材蓋 撤去	700x800 枠共	ヶ所	1.0			
SUS製落とし込み取手 撤去		ヶ所	1.0			
(新設)						
コンクリート直均し仕上		m2	1.3			
耐水型鋳鉄製マンホールφ600 新設		ヶ所	1.0			
耐水型マシンハッチ 新設	鋼製一部SUS製既製品 700x650	ヶ所	1.0			
SUS製落とし込み取手 新設	既製品 W400	ヶ所	1.0			
項目計						

第4号

躯体改修

内訳明細書

名称	形状寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
(撤去)						
コンクリートカッター入		m	8.1			
モルタルカッター入		m	3.4			
コンクリート 撤去		m ³	0.2			
躯体目荒し		m ²	0.8			
(新設) (鉄筋)						
異形鉄筋	SD295 D10 ロス込	t	0.1			
”	SD295 D13 ロス込	t	0.1			
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 一般 NET	t	0.1			
スクラップ控除	H2	t	0.1			
鉄筋運搬費	4t車 NET	t	0.1			
(コンクリート)						
普通コンクリート	Fc=21 S=18 躯体	m ³	0.7			
打設手間	ポンプ打設(躯体)	m ³	0.7			
小計						

第4号

躯体改修

内訳明細書

名称	形状寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
ポンプ圧送	打設量30m3未満(躯体)	m3	0.7			
ポンプ圧送基本料金	打設量30m3未満(躯体)	回	1.0			
(型枠)						
打放合板型枠	B種	m2	1.7			
型枠運搬費	4t車	m2	1.7			
打放し面補修	B種 コーン処理	m2	1.7			
ボルト型枠	φ600	m2	0.6			
(その他)						
あと施工アンカー	D10 横方向 接着系アンカー	ヶ所	8.0			
"	D13 横方向 接着系アンカー	ヶ所	18.0			
"	M12 下方向 金属系アンカー	ヶ所	16.0			
"	M16 下方向 金属系アンカー	ヶ所	8.0			
(仮蓋補強)						
補強材	L-100x75x10x10	t	0.1			
あと施工アンカー	M16 下向き 接着系アンカー	ヶ所	4.0			
小計						
項目計						

第5号 運搬・処分費

内訳明細書

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
(積込)						
コンクリート類	コンクリートがら・がれき類	m3	0.2			
ボード・木材類	上記以外	m3	0.3			
(運搬)						
コンクリートがら		m3	0.2			
がれき類		m3	0.1			
金属くず		m3	0.2			
廃プラスチック		m3	0.1			
(処分)						
コンクリートがら		t	0.5			
がれき類		t	0.1			
金属くず		t	0.1			
廃プラスチック		t	0.1			
項 目 計						

第 6 号 屋外排水設備

内訳明細書

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
逆水防止弁	150A VP管用	個	1.0			
小 計						
項 目 計						

代 価 表

(1号)

[名称] 撤去材運搬					1 m3 当り
[規格1] コンクリートがら			[規格2]		
名称・規格など	所要量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 2t積級	0.57	日			
採用単価					

(2号)

[名称] 撤去材運搬					1 m3 当り
[規格1] がれき類・ガラスくず・ボードくず			[規格2]		
名称・規格など	所要量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 2t積級	0.45	日			
採用単価					

(3号)

[名称] 撤去材運搬					1 m3 当り
[規格1] 金属くず			[規格2]		
名称・規格など	所要量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 2t積級	0.15	日			
採用単価					

代 価 表

(4号)

[名称] 撤去材運搬				1 m3	当り
[規格1] 廃プラスチック				[規格2]	
名称・規格など	所要量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 2t積級	0.45	日			
採用単価					

(5号)

[名称] 撤去機械運転				1 日	当り
[規格1] ダンプトラック 2t積級				[規格2]	
名称・規格など	所要量	単位	単価	金額	備考
一般運転手	1	人			
燃料 軽油	22.5	ℓ			
ダンプトラック損料 2t車	1.29	供用日			
タイヤ損耗費		供給日			
その他 20-30% 対象:運転手、燃料	1	式			
計	1	式			
採用単価					

(6号)

[名称] 逆水防止弁				1 個	当り
名称・規格など	所要量	単位	単価	金額	備考
逆水防止弁 150φ VP管用	1.0	個			
配管工	0.22	人			
その他 労務費×23%	1	式			
計	1	個			

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-05. 11. 01(0) G 下水道電気設備		≪凡例≫ Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代	
復興係数区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 00 補正なし 00 補正しない		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工					Y1900G レベル1
	1	式			
電気設備工					Y29001G レベル2
	1	式			
材料費					Y390012G レベル3
	1	式			
直接材料費					Y49001201G レベル4
	1	式			
直接材料費					V0001 00
	1	式			単第0 -0001 表
補助材料費					Y49001202G レベル4
	1	式			
補助材料費 (率分)					SY49202G 00
	1	式			電気設備 単第0 -0002 表
労務費					Y390013G レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般労務費	1	式			Y49001301G レベル4
一般労務費	1	式			V0002 00 単第0 -0003 表
技術労務費	1	式			Y49001302G レベル4
技術労務費	1	式			V0003 00 単第0 -0004 表
直接工事費					
共通仮設費率分					Z0010
計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
共通仮設費					
純工事費					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
** 据付工事原価 **					
設計技術費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
** 工事原価 **					
一般管理费率分額 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 対象額合計…
** 一般管理費計 **					
** 工事価格計 **					
消費税相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					
** 請負工事費計 **					

— 数量総括表 —

令和 5 年度

雨水排水ポンプ場耐水化工事(下北方雨水ポンプ場)

工 種	種 別	細 別	数 量	
1. 直接仮設	養生	10.00	10.0 m2	
	整理清掃・後片付け	10.00	10.0 m2	
	通路養生	15.55	15.6 m2	
	外部足場	枠組足場900枠 手摺先行方式	21.96	22.0 m2
	垂直養生	防音シート張	21.96	22.0 m2
	仮設材運搬費			1.0 式

工 種	種 別	細 別	数 量
2. 外壁改修工事	(撤去)		
	鋳鉄製マンホールφ600 撤去	枠共	1.0 ヶ所
	SUS製落とし込み取手 撤去		1.0 ヶ所
	アルミ製手摺(可動式) 撤去	H=1100	1.80
			1.8 m
	(新設)		
	コンクリート直均し仕上		0.71
			0.7 m ²
	耐水型鋳鉄製マンホールφ600 新設		1.0 ヶ所
	SUS製落とし込み取手 新設	既製品 W400	1.0 ヶ所
アルミ製手摺(可動式) 新設	H=1100	0.90	
		0.9 m	
SUS製梯子タラップ 新設	既製品 W400	5.15	
		5.2 m	

工 種	種 別	細 別	数 量
3. 内部改修工事	(撤去)		
	腰壁モルタル 撤去		2.95 3.0 m2
	铸铁製マンホールφ600 撤去	枠共	1.0 ヶ所
	合成木材蓋 撤去	700x800 枠共	1.0 ヶ所
	SUS製落とし込み取手 撤去		1.0 ヶ所
	(新設)		
	コンクリート直均し仕上		1.26 1.3 m2
	耐水型铸铁製マンホールφ600 新設		1.0 ヶ所
耐水型マシンハッチ 新設	鋼製一部SUS製既製品 700x650	1.0 ヶ所	
SUS製落とし込み取手 新設	既製品 W400	1.0 ヶ所	

工 種	種 別	細 別	数 量	
4. 躯体改修工事	(撤去)			
	コンクリートカッター入		8.07 8.1 m	
	モルタルカッター入		3.35 3.4 m	
	コンクリート 撤去		0.19 0.2 m ³	
	躯体目荒し		0.80 0.8 m ²	
	(新設)			
	(鉄筋)			
	異形鉄筋	SD295 D10	ロス込	0.01 0.1 t
	〃	SD295 D13	ロス込	0.06 0.1 t
	鉄筋加工組立	R C ラーメン構造 一般	NET	0.07 0.1 t
	スクラップ控除	H2	(【ロス込】 - 【NET】) × 0.7 =	0.00 0.1 t
	鉄筋運搬費	4 t 車	NET	0.07 0.1 t
(コンクリート)				
普通コンクリート	Fc=21 S=18	躯体	0.74 0.7 m ³	
打設手間	ポンプ打設(躯体)		0.74 0.7 m ³	

工 種	種 別	細 別	数 量
	ポンプ 圧送	打設量30m3未満(躯体)	0.74 0.7 m3
	ポンプ 圧送基本料金	打設量30m3未満(躯体)	1.0 回
	(型枠)		
	打放合板型枠	B種	1.68 1.7 m2
	型枠運搬費	4 t 車	1.68 1.7 m2
	打放し面補修	B種 コーン処理	1.68 1.7 m2
	ボルト型枠	φ 600	0.56 0.6 m2
	(その他)		
	あと施工アンカー	D10 横方向 接着系アンカー	4.0 ヶ所
	〃	D13 横方向 接着系アンカー	4.0 ヶ所
	〃	M12 下方向 金属系アンカー	16.0 ヶ所
	〃	M16 下方向 金属系アンカー	8.0 ヶ所
	(仮蓋補強)		
	補強材	L-100 x 75 x 10 x 10 ロス込 4.52×13.0=58.76	0.06 0.1 t
	あと施工アンカー	M16 下向き 接着系アンカー	4.0 ヶ所

工 種	種 別	細 別	数 量
5. 運搬・処分費	(積込)		
	コンクリート類	コンクリートがら・がれき類	0.19+0.01= 0.20 0.2 m ³
	ボード・木材類	上記以外	0.30 0.3 m ³
	(運搬)		
	コンクリートがら		0.19 0.2 m ³
	がれき類		0.01 0.1 m ³
	金属くず		0.24 0.2 m ³
	廃プラスチック		0.06 0.1 m ³
	(処分)		
	コンクリートがら		0.45 0.5 t
	がれき類		0.02 0.1 t
	金属くず		0.10 0.1 t
廃プラスチック		0.010 0.1 t	

躯体集計表

下北方雨水ポンプ場

部 位 記 号	コンクリート				型 枠 (m ²)	鉄 筋 (m)								圧 接			
	Fc	S	打設(回)	(m ³)		D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	計	D19	D22	D25	D29
雑	21	18	1	0.74	1.68	2.55	57.43						59.98				
計	0.74				1.68	2.55	57.43						59.98				
C強度別	(m ³)		C打設別	(m ³)		鉄筋重量換算								(t)			
Fc=24 , S=18			1 回	0.74	〈単重〉 kg/m	0.56	0.995	1.56	2.25	3.04	3.98	5.04					
Fc=24 , S=15			2 回		〈NET〉	0.01	0.06						0.07				
Fc=21 , S=18	0.74				〈ロス率〉	4.0 %											
					〈ロス込〉	0.01	0.06						0.07				
					〈スクラップ控除〉	70.0 %	× (ロス込-NET)										
合 計	0.74				1.68	0.01	0.06						0.07				

(弁・ダンパー類)

集計- 1

冷水・冷温水(65A以上)	A
給水(65A以上)	B

屋内露出	1		カラー亜鉛鉄板	カ	保温無し	ナ
屋外露出	2		ステンレス鋼板	ス		
天井隠蔽	3		アルミガラスクロス	ア		
床下、暗渠	4		着色アルミガラスクロス	着		

工事種目	排水	種類		図番	M-03
階別		系統		下北方雨水ポンプ場	

弁・ダンパー寸法	保温施行区分	個								計(個)	保温		塗装	
逆水防止弁 150		1								1				
計										1				

目次
下北方雨水ポンプ場

1. 人工集計表	1-1
[本工事]	
2. 試験工集計表	2-1-1
3. 材料集計表	3-1
4. 材料内訳表	4-1-1
5. 拾い出し根拠表	5-1-1
[移設工事]	
6. 据付工集計表	6-1-1
7. 試験工集計表	7-1-1
[再利用]	
8. 据付工集計表	8-1-1
[撤去工事]	
9. 材料集計表	9-1
10. 材料内訳表	10-1-1
11. 拾い出し根拠表	11-1-1

物件名：三原市耐水化設計

集計設備（機材内容）

- | | | | |
|------------------|--------|-----|------|
| 7. 下北方雨水ポンプ場(今回) | (ケーブル類 | 材料類 | 機器類) |
| 8. 下北方雨水ポンプ場(撤去) | (ケーブル類 | 材料類 | 機器類) |

材 料 数 量		(*) 印は工量無		[下北方雨水ポンプ場]
(1)	電線管類	PV 38 mm (露出)	m	2.4
(2)	電線管類	PV 30 mm (露出)	m	2.4
(3)	電線管類	PV 24 mm (露出)	m	1.2
(4)	一般労務費	電 工 (掘付)	人	3
(5)	技術労務費	技術者 (掘付)	人	1
(6)	技術労務費	技術者 (組合試験)	人	1

人 工 集 計 表

[下北方雨水ポンプ場]

集計表名称	掘付・配線工						単体調整 技術者	重量(撤去重量) (t)	試験工					
	技術者	電 工							技術者	電 工				
試験工集計表(T-701)								0.32						
材料集計表-1		0.72												
(移 設)掘付工集計表(S-701)	0.71	1.8												
(移 設)試験工集計表(T-701)								1.62						
(再利用)掘付工集計表(S-801)	0.42	1.0												
(撤 去)材料集計表-1		0.15												
合計	1.13	3.67						1.94						
設計数量	1	3						1						

下北方雨水ポンプ場(今回) (1/ 1)

試 験 工 集 計 表

[下北方雨水ポンプ場]

機 器 名 称	形 状	単 位	数 量	技 術 者		電 工		技 術 者 単 体 調 整				歩 掛 ペー ー ジ	備 考
				単 位 工 量	工 量	単 位 工 量	工 量	単 位 工 量	工 量	単 位 工 量	工 量		
水位計	試験のみ	ループ	1		0.32								計装設備 発信器類(制御なし)
計 (T-701)					0.32								

材 料 集 計 表 - 1

[下北方雨水ポンプ場]

内訳区分	PV				PV				PV							
	38 mm				30 mm				24 mm							
	露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込						
CHK (7-1)	2.4				2.4				1.2							
合計値 (A)	2.4				2.4				1.2							
補完率 (B)																
(C)=(A)×(B)	2.4				2.4				1.2							
設計数量 (D)=(C)	2.4				2.4				1.2							
電工単位工量(E)=(E0)	0.14	0.12			0.12	0.10			0.096	0.080						
電工量 (C)×(E)	0.33				0.28				0.11							

C- 1 / 1

電工量小計 = 0.72

下北方雨水ポンプ場(今回)

材 料 内 訳 表

NO	配線区間		PV 38 mm				PV 30 mm				PV 24 mm							
			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込						
7001	受電点	ポンプ制御盤					1.2											
7002	受電点	ポンプ制御盤					1.2											
7003	ポンプ制御盤	No.2ポンプ	1.2															
7004	ポンプ制御盤	水位計	1.2															
7005	ポンプ制御盤	既設接地極ED									1.2							
(1/1)	CHK (7-1)		2.4				2.4				1.2							

No	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
7001	受電点	ポンプ制御盤		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PV 30 mm	露出	1.2
	埋込					
7002	受電点	ポンプ制御盤		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PV 30 mm	露出	1.2
	埋込					
7003	ポンプ制御盤	No. 2ポンプ		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PV 38 mm	露出	1.2
	埋込					
7004	ポンプ制御盤	水位計		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PV 38 mm	露出	1.2
	埋込					
7005	ポンプ制御盤	既設接地極ED		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PV 24 mm	露出	1.2
	埋込					

下北方雨水ポンプ場(今回) (1/ 1)

(移 設)据 付 工 集 計 表

[下北方雨水ポンプ場]

機 器 名 称	形 状	単 位	数 量	技 術 者		電 工		技 術 者 単 体 調 整		単 位 工 量	工 量	歩 掛 ペー ジ	機 器 重 量 (t)		備 考
				単 位 工 量	工 量	単 位 工 量	工 量	単 位 工 量	工 量				単 位 重 量	重 量	
ポンプ制御盤	屋外壁掛形	面	1		0.71		1.8								配電盤-3 現場操作盤5
計 (S-701)					0.71		1.8								

下北方雨水ポンプ場(今回) (1/ 1)

(移 設)試 験 工 集 計 表

[下北方雨水ポンプ場]

機 器 名 称	形 状	単 位	数 量	技 術 者		電 工		技 術 者 単 体 調 整				歩 掛 ペー ジ	備 考
				単 位 工 量	工 量	単 位 工 量	工 量	単 位 工 量	工 量	単 位 工 量	工 量		
ポンプ 制御盤		負荷	2	0.81	1.62								動力制御盤
計 (T-701)				1.62									

(撤去)材料集計表 - 1

[下北方雨水ポンプ場]

内訳区分	PV 38 mm				PV 30 mm				PV 24 mm							
	露出		埋込		露出		埋込		露出		埋込					
CRK (8- 1)	1.4				1.4				0.7							
合計値 (A)	1.4				1.4				0.7							
補完率 (B)																
(C)=(A)×(B)	1.4				1.4				0.7							
撤去数量 (D)=(C)	1.4				1.4				0.7							
電工単位工量(E)=(E0)×K	0.057	0.048			0.048	0.040			0.038	0.032						
電工量 (C)×(E)	0.07				0.06				0.02							

C- 1 / 1 (K= 0.4)

電工量小計 = 0.15

内訳区分	PV 38 mm				PV 30 mm				PV 24 mm							
	露出		埋込		露出		埋込		露出		埋込					

下北方雨水ポンプ場(撤去) (1/ 1)

(再利用)据付工集計表

[下北方雨水ポンプ場]

機器名称	形状	単位	数量	技術者		電工		技術者単体調整		歩掛 ページ	機器重量(t)		備考
				単体工量	工量	単体工量	工量	単体工量	工量		単体重量	重量	
ポンプ制御盤	屋外壁掛形	面	1	0.71*0.6 =0.42	0.42	1.8*0.6 =1.0	1.0						配電盤-3 現場操作盤8
計 (S-801)				0.42		1.0							

下北方雨水ポンプ場(撤去)

(撤去)材 料 内 訳 表

NO	配線区間	自	至	PV 38 mm			PV 30 mm			PV 24 mm									
				露出	埋込		露出	埋込		露出	埋込								
R 8001	受電点		ポンプ制御盤				0.7												
R 8002	受電点		ポンプ制御盤				0.7												
R 8003	ポンプ制御盤		No.2ポンプ	0.7															
R 8004	ポンプ制御盤		水位計	0.7															
R 8005	ポンプ制御盤		既設接地極ED								0.7								
(1/1)	CRK (8- 1)			1.4			1.4				0.7								

下北方雨水ポンプ場(撤去) (1/ 1)

拾い出し根拠表

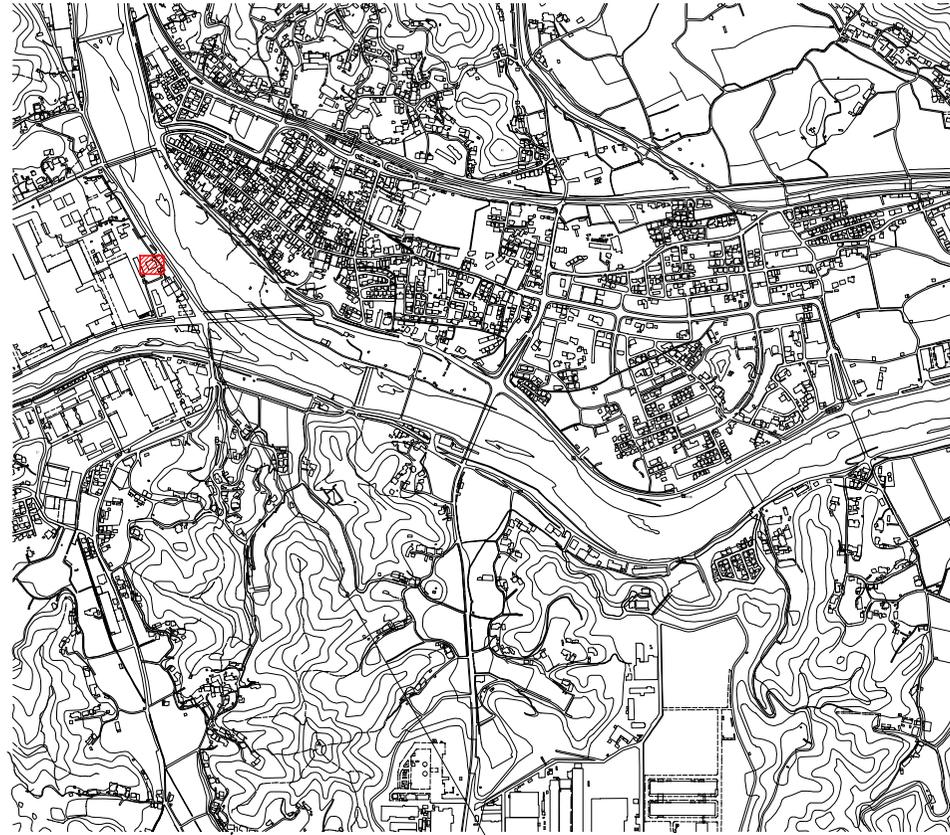
雨水ポンプ場

No	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 8001	受電点	ポンプ制御盤		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PV 30 mm	露出	0.7
	埋込					
R 8002	受電点	ポンプ制御盤		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PV 30 mm	露出	0.7
	埋込					
R 8003	ポンプ制御盤	No. 2ポンプ		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PV 38 mm	露出	0.7
	埋込					
R 8004	ポンプ制御盤	水位計		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PV 38 mm	露出	0.7
	埋込					
R 8005	ポンプ制御盤	既設接地極ED		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PV 24 mm	露出	0.7
	埋込					

— 参 考 図 —

令和 5 年度

雨水排水ポンプ場耐水化工事(下北方雨水ポンプ場)



位置図 S=1/6000

備考

1.  は、施工場所を示す。

令和5年度 公共下水道事業（雨水）			
工事名	雨水排水ポンプ機能水化工事（下北方雨水ポンプ場）		
工事場所	三原市 下北方一丁目		
図面番号	縮尺	S=1/6000	
図面名： 位置図			
三 原 市			